## 区長報告第一号

専決処分について

例 第 港 八 X 号 議 会 第  $\mathcal{O}$  $\equiv$ 議 条 決 第 に 付 項 す  $\mathcal{O}$ ベ き 規 契 定 約 に 基 及 び づ 財 き 産 平  $\mathcal{O}$ 成 取 得 + 又 八 は 年 処 + 分 \_ に 月 関 す + る 条 八 日 例 次 昭  $\mathcal{O}$ لح 和  $\equiv$ お +り 九 処 分 年 L 港 た 区

 $\mathcal{O}$ 

条

、同条第二項の規定に基づき報告する。

で

平成二十九年二月十五日

区長 武 井 雅 昭

港

記

額 平 三 成 億 六 +千 七 年 九 +百 八 + 月 七 兀 万 日 八 議 千 決 几 を 百 得 円 た 工 を 事  $\equiv$ 請 負 億 契 七 約 千  $\overline{\phantom{a}}$ 三 浜 百 路  $\equiv$ 橋 万 改 五. 良 千 工 \_ 事 百 兀 耐 + 震 円 補 \_ 強 に 変 更  $\mathcal{O}$ す 契 る。 約 金

港 区 個 人 番 号  $\mathcal{O}$ 利 用 並 び に 特 定 個 人 情 報  $\mathcal{O}$ 保 護 及 び 提 供 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ \_\_ 部 を 改

正する条例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

出者 港区長 武 井 雅 昭

提

区 個 人 番 号  $\mathcal{O}$ 利 用 並 び に 特 定 個 人 情 報  $\mathcal{O}$ 保 護 及 び 提 供 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ \_ 部 を 改

正する条例

港

港 区 個 人 番 号  $\mathcal{O}$ 利 用 並 び に 特 定 個 人 情 報  $\mathcal{O}$ 保 護 及 び 提 供 に 関 す る 条 例 平 成 + 七 年 港 区 条

例 第 \_ + 八 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

第 六 条 第 三 項 中  $\neg$ 第 + 九 条 第 + 三 号 \_ を  $\neg$ 第 +九 条 第 + 兀 号 \_ に 改  $\otimes$ る

第 七 条 第 六 号 中 第 + 六 条 第 項 を  $\neg$ 第 + 七 条 第 項 に 改  $\otimes$ る

第 +五. 条 第 項 中  $\neg$ 第 + 九 条 第 + 三 号 \_ を 第 + 九 条 第 + 兀 号  $\sqsubseteq$ に 改 8 る 0

第 + 五. 条  $\mathcal{O}$ 第 項 中 第 + 九 条 第 九 号 を 第 + 九 条 第 + 号 \_ に 改  $\emptyset$ る

第 \_ + 条 第 項 第 号 中  $\neg$ 第 十 八 条 \_ を 第 + 九 条 に 改

 $\Diamond$ 

る

第 八 第 \_ 号 に + 規 几 条 定 第 す  $\equiv$ る 項 条 中 例 事  $\neg$ 務 又 関 は \_\_ 係 情 を 報 \_ 照 若 L 会 者 < 若 は \_ L < に 改 は 条 8 例 事 \_ 務 限 関 る 0 係 情 \_ 報 提  $\mathcal{O}$ 供 下 者 12 \_  $\neg$ を 又 加 は え 法 第 る + 九 条

第 <u>-</u> + 八 条 中  $\overline{\phantom{a}}$ 第 六 条 第 五. 項 \_ を 第 六 条 第 三 項 \_ に 改 8 る

別 表 第  $\mathcal{O}$ 六  $\mathcal{O}$ 項 中  $\neg$ 昭 和 + 五. 年 法 律 第 百 兀 + 兀 号 を 削 る

別 表 第  $\mathcal{O}$ 五.  $\mathcal{O}$ 項 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 8 る

## 五削除

\_ \_ 児 活 情 え 当 七 報 活 別 関 保 報  $\mathcal{O}$ に 童 保 を 表 護 同 係 項 児 改 扶 護 加 第 関 表 中 え 情 童  $\emptyset$ 養 関 福 手 係 係 及  $\mathcal{O}$ 報  $\mathcal{O}$ 情 + 当 六 び 又 祉 同 情 八 特 は 法 表 等 報 又 報  $\mathcal{O}$ \_ \_  $\mathcal{O}$ 別 関 関 は 項  $\mathcal{O}$ 中 児 障 項 を 係 + 係  $\mathcal{O}$ 給 中 害 中 童 情 兀 情 下 玉 付  $\neg$ 者 扶 報 報 金 残  $\mathcal{O}$ に 後  $\sqsubseteq$ 留 関 地 養 項 期 邦 係 方 手 12 を 中 児 を 高 当 改 情 税 加 童 障 齢 人 等 児 若 報 関 等  $\otimes$ え 福 害 者 支 係 関 童 祉 者 L 医 児 関 援 情 同 法 < 係 扶 療  $\neg$ 給 子 関 童 報 情 表 養 係 は 関 ど 付 扶 報  $\mathcal{O}$ 手 係 情 給 係 等 養 生 t 十 当 情 報 付 情 関 六 関 手 活 児 報 報 • 金 当 \_ \_ 係 保 子 係 を 童  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 情 関 護 福 育 項 情 を 支 と 中 報 係 関 祉 て 報 加 給 1 支 う 情 法 え 児 係  $\neg$ 報 情 関 援 地  $\mathcal{O}$ 童 に \_ を 報 法 方 下 扶 改 係 情 関 税 に 保 養 8 を 育 手 削 中 報 係 関 又  $\mathcal{O}$ は ŋ 玉 又 情 係 所 当 同 下 \_ 表 残 は 報 情 特 又 関 に \_ に 同 留 保 報 別 は 係  $\mathcal{O}$ \_ 改 邦 児 情 + 表 育  $\mathcal{O}$ \_ 三  $\otimes$  $\mathcal{O}$ 人 所 下 童 を 報 児 \_ 等 等 に を 扶  $\mathcal{O}$ 童 支 十 入 削 養 保  $\mathcal{O}$ 項 福  $\mathcal{O}$ 援 所 ŋ 手 育 下 中 祉 児 当 障 項 給 情 所 法 に \_ 害 中 付 童 同 等 若 外 関 報 者 等 関 L 玉 係 扶 表 関 関 を 養 係 < 特 情  $\mathcal{O}$ 人

生

係

加

手

十

情

別

は

生

報

関 法 務 兀 報 障 に 生 玉 童 中 係 に 障  $\mathcal{O}$ 玉 を \_ 兀 改 す 員 年 害 害 民 活 人 扶 削 玉 情 者 + 養  $\emptyset$ る 昭 共 法 者 に 健 保 生 ŋ 残 報 給 和 済 律 改 関 特 \_\_ 護 活 手 留 又 総 康 三 当 同 付 第 合 係 別  $\mathcal{O}$ 保 関 保 同 邦 は 組  $\emptyset$ 支 情 障 表  $\mathcal{O}$ 十 合 七 児 項 険 係 護 関 表 人 支 七 法 + 援 報 童 中 関 情 関 係  $\mathcal{O}$ 等 害  $\mathcal{O}$ 同 兀 給 年  $\equiv$ 法 表 扶 係 係 情 三 支 者 報 \_ 十 若 法 昭 号 関 情 情 十 援 総  $\mathcal{O}$ 玉 養 報 \_ 子 七 合 L 律 和 係 兀 民 手 報 12 報  $\mathcal{O}$ 給 < 第  $\equiv$ 情 十 健 当 ど 又 改 支  $\mathcal{O}$ を 項 付 項 + 私 六 等 ŧ は 玉 中 等 援 は 百 報 康  $\otimes$ \_ 中 保 三 立 保 関 民 関 法 五. 又  $\mathcal{O}$ 後 又  $\neg$ 険 + 年 学 は 項 険 係 子 期 同 健 は 地 係 関  $\neg$ 方 係 又 料 法 校 健 中 関 情 育 高 康 外 情 表 は  $\mathcal{O}$ 号 律 教 康 係 報 て 齢  $\mathcal{O}$ 保 玉 税 報 情  $\neg$ \_  $\overline{\phantom{a}}$ 徴 第 職 保 玉 情 支 者 兀 険 人 関 報 \_ \_\_ 関 を 若 児 援 生 係 収 百 員 険 民 報 医 十 法 法 に 共 健 童 係 活 情 を L 又 療  $\mathcal{O}$ を 関 < 十 済 康 は 福 関 関 項 情 保 報 削  $\overline{\phantom{a}}$  $\neg$ 生 す は 八 法 大 保 後 係 係 中 報 護 又 ŋ 祉 号 活 高 期 法 情 情 又 関 は る 正 険 \_ 情 + 係 同 保 齢 昭 関 高 関 報 報 は を \_\_  $\sqsubseteq$ 護 報 者 和 係 齢 係 障 後 情 削 に 表 者 改 関  $\mathcal{O}$ 年 情 情 を を 害 期 報 ŋ  $\mathcal{O}$ 玉 \_ \_ + 法 削 8 係 以 医 民 報 医 報 者 高  $\neg$ \_ + 情 下 八 又 療 り 又 関 療 健 律 齢 に 年 を は 者 改 五. 報  $\mathcal{O}$ 康 第 は 関 係 障 情 外 医 確 保 法 七 後 係 加 医  $\Diamond$ 又 0 + 中 療 保 律 期 情 え 児 害 報 療 玉 項 険 は 玉 保 12 法 第 뭉 高 報 童 者 関 同 人 障 中  $\smile$ \_ 残 関 齢 扶 関 介 係 生 害 険 同 表 留 給 す 地 百 者 を 表 養 係 護 情  $\mathcal{O}$ 活 者 三 邦 付 る 方 兀 船 医  $\mathcal{O}$ 手 情 保 報 保 総 生  $\neg$ \_ 人 関 法 公 十 員 療 又 兀 当 報 険 十 護 合 活 \_ 等 律 務 五. 保 関 関 給 九 関 支 保 係 は 十 を 支 員 情 に 号 険 係 障 係 に 付  $\mathcal{O}$ 係 援 護 援 報 ょ 等 法 情 害 情 改 等 又 項 情 法 関  $\mathcal{O}$  $\sqsubseteq$ 給 る 共 報 者 項 報 関 は 中 報 関 係 め \_ \_ 付 لح 医 済 玉 昭 関 中 係 外 情 又 係 等 療 係 同 情 玉 は 11 組 家 和 を  $\mathcal{O}$ 情 報 情 下 表 外 児 関 う に 合 公 + 報 人 報

係 情 報 外 玉 人 生 活 保 護 関 係 情 報 \_ に 改  $\otimes$ 児 童 福 祉 法 関 係 情 報 \_  $\mathcal{O}$ 下 に  $\neg$ 又 は 医 療 保 険

給付関係情報」を加える。

別 表 第 三  $\mathcal{O}$ 兀  $\mathcal{O}$ 項  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 加 え る。

			四の二区長
るも	務であって区規則で	める児童福祉法に関する	別表第一の八の項に
			教育委員会
		定めるも	幼稚園入園情報であって区

付 則

ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は ` 平 成 + 九 年 五. 月 三 + 日 か 5 施 行 す る

七 律 第 令 号 別 兀 で 説 行 号 表 定 政 第 手  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 明  $\mathcal{O}$ る 続 施 事 に 部  $\mathcal{O}$ 行 改 主 務 お 正 務 に 及 け ょ に  $\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$ る 省 伴 令 る 情 特 定 1 で 行 報 定 政 を  $\mathcal{O}$ 手 定 個 規  $\Diamond$ 定 る 続  $\otimes$ 人 を 事 に る を 整 務 命 お 識 備 け 別 及 令 す  $\mathcal{U}$ る す  $\mathcal{O}$ 情 る 特 る 必 報 定 た 部 要 を  $\mathcal{O}$ を  $\Diamond$ が 定  $\mathcal{O}$ 個 改 あ  $\Diamond$ 人 正 番 る を す 号 る た る 命 識  $\mathcal{O}$  $\Diamond$ 令 別 利 命 令 す 用 本 平 る 等 案 成 た 平 に を 成  $\Diamond$ 関 提 +  $\mathcal{O}$ す 出 +る 六 番 1 年 号 八 法 た 内 年 律  $\mathcal{O}$ L 閣 利 内 別 ま 府 表 用 閣 等 す • 府 第 に 総 • 務 関 総  $\mathcal{O}$ 省 す 主 務 令 る 省 務 第 法 令 省

港 X 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ \_\_ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 <u>-</u> 月 + 五 日

提 出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ <del>\_\_\_</del> 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 条 例 平 成 + 年 港 区 条 例 第 <del>---</del> 号  $\mathcal{O}$ \_\_ 部 を 次  $\mathcal{O}$ 

ょ う に 改 正 す る

組 八  $\mathcal{O}$ 百 第 十 成 九 <u>\\</u> 七 条 に 条  $\mathcal{O}$ 0  $\mathcal{O}$ 第 1 7 第 項 家 \_\_ 庭 及 項 裁  $\mathcal{O}$ び 判 規 第  $\equiv$ 所 定 に に 項 請 ょ 中 求 り  $\neg$ L 職  $\mathcal{O}$ た 員 子 \_ 者 が 当  $\mathcal{O}$  $\overline{\phantom{a}}$ 当 該 下 該 職 に 請 員  $\neg$ 求 と  $\overline{\phantom{a}}$ に 民  $\mathcal{O}$ 係 間 法 る 12 家 お 明 事 け 治 審 る 判 同 + 事 項 九 に 件 年 法 が 規 裁 定 律 す 第 判 八 所 る に 特 + 係 別 九 属 養 号  $\overline{\phantom{a}}$ 子 L 7 縁 第

む 組 里 以 親 下 で  $\sum_{}$ あ る 職 員 に 委 託 さ れ 7 11 る 児 童 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\sum_{}$ れ 5 に 準 ず る 者 لح L 7  $\overline{X}$ 規 則 で 定  $\Diamond$ る 者 を 含

第

百

六

+

兀

号

 $\overline{\phantom{a}}$ 

第

+

七

条

第

\_

項

第

 $\equiv$ 

号

 $\mathcal{O}$ 

規

定

に

ょ

り

同

法

第

六

条

 $\mathcal{O}$ 

兀

第

뭉

に

規

定

す

る

養

子

縁

11

る

場

合

に

限

る

 $\overline{\phantom{a}}$ 

で

あ

0

て

当

該

職

員

が

現

に

監

護

す

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

児

童

福

祉

法

 $\overline{\phantom{a}}$ 

昭

和

+

年

法

律

 $\mathcal{O}$ 項 並 び に 次 条 第 項 及 び 第 三 項 並 び に 第 九 条  $\mathcal{O}$ 兀 第 項 及 び 第 三 項 に お 1 て 同 U

を加える。

を 第 九 前 \_ 条 項  $\mathcal{O}$ \_ 三 に  $\mathcal{O}$ 改 見  $\otimes$ 出 L 中 育  $\neg$ 児 育 \_ 児 \_\_  $\mathcal{O}$ 下  $\mathcal{O}$ に 下 に  $\neg$ 又  $\neg$ 又 は 要 は 介 要 護 介 者 護  $\mathcal{O}$ 者 介  $\mathcal{O}$ 護 介 \_ 護 を \_ 加 を え 加 え 同 項 同 条 を 同 第 条 第 項 三 中 項 と 前 L 項

同条第一項の次に次の一項を加える。

2 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 は 要 介 護 者 を 介 護 す る 職 員 に 0 1 7 潍 用 す る  $\mathcal{O}$ 場 合 に お 1 て 同 項 中

介 護 者 を 介 護 \_ لح 読 4 替 え る ŧ  $\mathcal{O}$ لح す る

三

歳

に

満

た

な

1

子

 $\mathcal{O}$ 

あ

る

職

員

が

当

該

子

を

養

育

لح

あ

る

 $\mathcal{O}$ 

は

要

介

護

者

 $\mathcal{O}$ 

あ

る

職

員

が

当

該

要

病 第 + 又 は 六 老 条 齢 第 に ょ 項 中 ŋ 日  $\neg$ 常 そ 生  $\mathcal{O}$ 活 配 を 偶 営 者 む ک 父 لح 母 に 支 子 障 が 配 あ 偶 る 者 t  $\mathcal{O}$ 父  $\mathcal{O}$ \_ 母 そ を  $\mathcal{O}$ 要 他 介 区 護 規 者 則 \_ で 定 に 改  $\Diamond$  $\Diamond$ る 者 で 同 条 負  $\mathcal{O}$ 傷 次

(介護時間)

に

次

 $\mathcal{O}$ 

<u></u>

条

を

加

え

る

疾

第 + 項 لح 六 に 認 お  $\Diamond$ 条 1 5  $\mathcal{O}$ 7 れ る 介 場 任 護 合 命 時 に 権 間 お 者 け は と る 11 休 職 う 暇 員 لح が 要 L 介 7 を ` 護 承 者 認 す 日  $\mathcal{O}$ 介 る  $\mathcal{O}$ t 勤 護  $\mathcal{O}$ 務 を لح 時 す す 間 る る  $\mathcal{O}$ た \_  $\Diamond$ 部 に 勤 0 務 1 L て な 勤 11  $\subseteq$ 務 と L な が 1 相 ک 当 لح で あ 次 る

2 介 護 時 間 に 関 L そ  $\mathcal{O}$ 期 間 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 必 要 な 事 項 は 人 事 委 員 会 0) 承 認 を 得 て、 区 規 則 で 定  $\Diamond$ 

る。

付則

(施行期日)

1  $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 条 例 は 公 布  $\mathcal{O}$ 日 か 5 施 行 す る

(経過措置)

2 港 ے 区 職  $\mathcal{O}$ 員 条  $\mathcal{O}$ 例 勤  $\mathcal{O}$ 務 施 時 行 間  $\mathcal{O}$ 日 休 か 5 日 平 休 成 暇 + 等 に 九 関 年 す 三 る 月  $\equiv$ 条 例 + 第 九 日 条 ま  $\mathcal{O}$ で  $\mathcal{O}$ 第 間 <del>---</del> は 項 ک 及 び  $\mathcal{O}$ 第 条 例 項 に 中 ょ る 第 改 六 正 条 後  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 

几 第 号 12 規 定 す る 養 子 縁 組 里 親 で あ る 職 員 に 委 託 さ n 7 1 る 児 童  $\sqsubseteq$ لح あ る  $\mathcal{O}$ は 第 六 条

 $\mathcal{O}$ 兀 第 \_\_ 項 に 規 定 す る 里 親 で あ る 職 員 に 委 託 さ れ て 11 る 児 童  $\mathcal{O}$ う 5 当 該 職 員 が 養 子 縁

組

に

ょ 0 て 養 親 لح な る \_ لح を 希 望 L 7 1 る 者 \_ と す る

3 前 項 に 規 定 す る Ł  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カゝ  $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 条 例  $\mathcal{O}$ 施 行 に 伴 11 必 要 な 経 過 措 置 は 区 規 則 で 定  $\Diamond$ る

(説 明)

+ 育 働 六 児 者 地 号 方 休  $\mathcal{O}$ 業 福 公 祉 務  $\mathcal{O}$ 介 に 員 護 関 部  $\mathcal{O}$ 改 休 す 育 正 業 る 児 に 等 休 法 伴 育 律 業 1 児 等  $\mathcal{O}$ 又 \_\_ に 要 は 部 関 介 家 す を 護 る 族 改 者 介 正 法 を 護 す 律 介 を る 及 護  $\mathcal{U}$ 行 法 す う 律 育 る 労 児 平 職 働 休 員 者 成 業  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 介 福 +介 護 祉 八 護 時 に 年 休 関 業 間 法 す 等  $\mathcal{O}$ 律 新 る 第 育 設 法 九 児 及 律 + 又 び は 五. 平 号 超 家  $\smile$ 過 成 族  $\equiv$ 勤 介  $\mathcal{O}$ 務 年 施 護  $\mathcal{O}$ 法 を 行 制 律 に 行 限 第 ょ う に 七 る 労

0

1

て

定

 $\Diamond$ 

る

た

8

本

案

を

提

出

1

た

L

ま

す

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 配 偶 者 同 行 休 業 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

提出者 港区長 武 井 雅 昭

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 配 偶 者 同 行 休 業 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 配 偶 者 同 行 休 業 に 関 す る 条 例  $\overline{\phantom{a}}$ 平 成 + 六 年 港 区 条 例 第 三 + 七 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次

 $\mathcal{O}$ 

ように改正する。

第 条 中 第 項 \_ を  $\neg$ か 5 第 三 項 ま で \_ に 改  $\otimes$ る

第七条の次に次の一条を加える。

配 偶 者 同 行 休 業  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 再 度  $\mathcal{O}$ 延 長 が で き る 特 别  $\mathcal{O}$ 事 情

第 七 条  $\mathcal{O}$ 法 第 \_ + 六 条  $\mathcal{O}$ 六 第 三 項  $\mathcal{O}$ 条 例 で 定 8 る 特 別  $\mathcal{O}$ 事 情 は 配 偶 者 同 行 休 業  $\mathcal{O}$ 期 間  $\mathcal{O}$ 

延 長 後  $\mathcal{O}$ 期 間 が 満 了 す る 日 に お け る 当 該 配 偶 者 同 行 休 業 に 係 る 配 偶 者  $\mathcal{O}$ 第 五 条 第 号  $\mathcal{O}$ 外 玉

定 L て 1 な カゝ 0 た ک لح そ  $\mathcal{O}$ 他 任 命 権 者 が  $\sum_{}$ れ に 準 ず る لح 認  $\Diamond$ る 事 情 と す る。

で

 $\mathcal{O}$ 

勤

務

が

同

日

後

t

引

き

続

<

لح

لح

な

ŋ

及

び

そ

 $\mathcal{O}$ 

引

き

続

<

 $\subseteq$ 

لح

が

当

該

延

長

 $\mathcal{O}$ 

申

請

時

に

は

確

説 ک  $\mathcal{O}$ 条 明) 付 例 則

は、 平 成 二 十 九 年 兀 月 一 日 カュ 5 施 行 す る。

出 1 た L ます。

職 員 0 配 偶 者 同 行 休 業 0) 期 間 0) 再 度  $\mathcal{O}$ 延 長 が で きる 特 別 0) 事 情 につい て 定 め る ため、 本 案を

提

案 第 兀 号

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

亚 成 + 九 年 \_ 月 + 五 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 職 員  $\mathcal{O}$ 育 児 休 業 等 12 関 す る 条 例 平 成 兀 年 港 区 条 例 第 兀 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す

第 \_ 条 第 三 号 1 (2)を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改  $\otimes$ る

る

(2)そ  $\mathcal{O}$ 養 育 す る 子  $\overline{\phantom{a}}$ 育 児 休 業 法 第 <u>-</u> 条 第 項 に 規 定 す る 子 を 11 う 0 以 下 同 じ が

歳 六 筃 月 に 達 す る 日 第 条  $\mathcal{O}$ 三 第 三 号 に お 11 て 歳 六 筃 月 到 達 日 \_ と 1 う ま

で に そ  $\mathcal{O}$ 任 期  $\overline{\phantom{a}}$ 任 期 が 更 新 さ れ る 場 合 に あ 0 7 は 更 新 後  $\mathcal{O}$ Ł  $\mathcal{O}$ が 満 了 す る

び 特 定 職 に 引 き 続 き 採 用 さ れ な 11 と が 明 5 か で な 1 非 常 勤 職 員

及

が 第 \_ 歳 に 条 達 第 す 三 号 る 日 口 中 以  $\neg$ 下 次  $\overset{\sim}{\smile}$ 条  $\mathcal{O}$ 第 号 三 及 号 \_ び 同 を 条 第 に お 1 条 て  $\mathcal{O}$ 三 第 三 歳 到 号 達 日 に \_ と 1 子 う。  $\mathcal{O}$ 歳 到 達 に 日 改  $\Diamond$ る を 子

第 <u>-</u> 条  $\mathcal{O}$ 三 を 第 条  $\mathcal{O}$ 兀 لح す る

月 \_ 第 を 条 か  $\mathcal{O}$ 6 第 <del>\_\_\_</del> 歳 六 号 筃 中 月  $\neg$ \_ \_\_\_ に 歳 か 子 月 \_ が <del>---</del> を 歳 六 <del>\_\_</del> カュ 歳 月 に 筃 達 月 \_ す 加 る に 改 日 \_  $\Diamond$ を 同 子 条  $\mathcal{O}$ 第 三 歳 号 六 中 筃  $\neg$ 月 カン 到 5 \_ 達 歳 日 六 に カン

育 児 休 業 法 第 <u>-</u> 条 第 \_ 項  $\mathcal{O}$ 条 例 で 定  $\otimes$ る 者 改

 $\otimes$ 

同

条

を

第

条

 $\mathcal{O}$ 

三

لح

し

第

条

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次

 $\mathcal{O}$ 

\_\_\_

条

を

え

る

第 \_ 十 規 十 百 六 七 定 七 条 条 す 条 +  $\mathcal{O}$ 第 第 几 る 養 兀 号  $\overline{\phantom{a}}$ 項 子 項 育 第 縁 12 第 児 三 組 規 六 休 号 里 定 業 条  $\mathcal{O}$ 親 す 法  $\mathcal{O}$ 規 لح る 兀 第 者 第 定 し に 7  $\mathcal{O}$ <del>---</del> 条 ょ 当 意 第 号 り 該 に に 委 児 反 規 項 託 す 定  $\mathcal{O}$ 童 さ す を る 条 れ 委 た る 例 て 託  $\Diamond$ 養 で す 育 1 定 里 る 同  $\Diamond$ る 当 ے 項 親 る 該 لح  $\mathcal{O}$ で 者 児 が 規 は あ 童 で 定 る と き に 職 児 す 童 な ょ 員 福 る 1 ŋ 職 児 祉 員 同 童 法 に 法  $\mathcal{O}$ 限 親 昭 第 る 六 そ 和 条  $\mathcal{O}$ +  $\mathcal{O}$ 他 に 兀  $\mathcal{O}$ 年 同 第 同 法 法 法 号 第 第 律 に 第

第 三 条 第 号 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改  $\Diamond$ る

 $\mathcal{O}$ 承 育 認 児 が 休 業 効 力 を を L 失 7 0 11 た る 後 職 員 当 が 該 産 産 前 前  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 休 業 休 業 を 始 又 は  $\Diamond$ 出 産 又 に は 係 出 る 産 子 L が た  $\overset{\sim}{\smile}$ 次 と に 掲 に げ ょ る ŋ 場 当 合 に 該 該 育 当 児 す 休 る 業

イ 死 亡 L た 場 合  $\sum_{}$ 

と

と

な

9

た

لح

口 養 子 縁 組 等 に ょ ŋ 職 員 لح 別 居 す る  $\overset{\sim}{\smile}$ لح لح な 0 た 場 合

第 三 条 第 七 号 を 同 条 第 八 号 لح L 同 条 第 六 号 中 第 \_ 条  $\mathcal{O}$ 第 三 뭉 \_ を 第 条 0) 三 第

に 改 8 同 号 を 同 条 第 七 뭉 と L 同 条 中 第 五 号 を 第 六 号 کے L 第 뭉 か 5 第 兀 号 ま で を 号 ず

0 繰 ŋ 下 げ 休 第 号  $\mathcal{O}$ 次 12 次  $\mathcal{O}$ \_\_ 号 五. を 条 加 え る 休

承 認 が 取 り 消 さ れ た 後 同 条 に 規 定 す る 承 認 に 係 る 子 が 次 12 掲 げ る 場 合 に 該 当 す る と

な 0 た ۲ لح

育

児

業

を

L

て

1

る

職

員

が

第

に

規

定

す

る

事

由

に

該

当

L

た

 $\sum_{}$ 

لح

に

ょ

ŋ

当

該

育

児

業

 $\mathcal{O}$ 

1 前 号 イ 又 は 口 に 撂 げ る 場 合

口 民 法 明 治 + 九 年 法 律 第 八 + 九 号 第 八 百 + 七 条  $\mathcal{O}$ 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 請 求

に

係

る 家 事 審 判 事 件 が 終 了 L た 場 合  $\overline{\phantom{a}}$ 特 別 養 子 縁 組  $\mathcal{O}$ 成 <u>\( \frac{\frac{1}{3}}{2} \)</u>  $\mathcal{O}$ 審 判 が 確 定 L た 場 合 を 除 <

又 は 養 子 縁 組 が 成 <u>\f</u> L な 1 ま ま 児 童 福 祉 法 第 + 七 条 第 項 第 三 号  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 措 置 が

解 除 さ n た 場 合

又

は

第

+

\_\_

条

第

\_

号

12

掲

げ

る

事

由

に

該

当

L

た

と

に

ょ

n

当

該

育

児

短

時

間

勤

務

 $\mathcal{O}$ 

承

認

が

取

ŋ

消

さ

第 八 条 第 뭉 中 若 L < は を 又 は \_ に  $\neg$ 当 該 育 児 短 時 間 勤 務  $\mathcal{O}$ 承 認 が 効 力 を 失 11

れ た 後 当 該 産 前  $\mathcal{O}$ 休 業 若 L < は 出 産 に 係 る 子 若 L < は 同 号  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 承 認 に 係 る 子 が 死 亡

L 又 は 養 子 縁 組 等 に ょ り 職 員 لح 別 居 す る を 当 該 育 児 短 時 間 勤 務  $\mathcal{O}$ 承 認 が 効 力 を 失 0 た

後 当 該 産 前  $\mathcal{O}$ 休 業 又 は 出 産 に 係 る 子 が 第 三 条 第 号 イ 又 は 口 に 掲 げ る 場 合 に 該 当 す る \_ に 改

 $\otimes$ 同 条 中 第 六 号 を 第 七 号 と L 第 号 カュ 5 第 五. 号 ま で を \_ 号 ず 0 繰 ŋ 下 げ 第 号  $\mathcal{O}$ 次 に 次

 $\mathcal{O}$ 号 を 加 え る

該 育 育 児 児 短 短 時 時 間 間 勤 勤 務 務 を  $\mathcal{O}$ L 承 認 7 が 1 取 る ŋ 職 消 員 さ が 第 n た + 後 条 第 同 号 号 に 規 に 定 掲 す げ る る 事 承 認 由 に に 係 該 当 る 子 L た が 第 三 لح 条 に 第 ょ ŋ 뭉 当

規 第 + 定 に 五 ょ 条 第 る 育 児 項 時 中 間  $\neg$ 又 又 は は \_\_ 勤 務 を 時 間 若 条 L < 例 第 は \_\_ + 六 に 条  $\mathcal{O}$ 規 第 定 に <del>---</del> 項 ょ 若 ŋ 育 L < 児 は 時 幼 間 稚 を 袁 承 教 認 育 さ 職 れ 員 7 勤 11 務 る 時 間 を

イ

又

は

口

12

掲

げ

る

場

合

に

該

当

す

る

 $\sum_{}$ 

لح

لح

な

0

た

ک

لح

児 条 時 例 間 第 \_ +  $\mathcal{O}$ 八 下 条 に  $\mathcal{O}$ 又 第 は 当 項 該  $\mathcal{O}$ 介 規 護 定 時 に 間 ょ  $\mathcal{O}$ る 承 介 護 認 を 時 受 間 け  $\mathcal{O}$ 7 承 勤 認 を 務 受 L な け 7 11 勤 時 間 務 L を な 加 VI  $\sqsubseteq$ え る に 改  $\Diamond$ 当 該

育

付則

1 ے  $\mathcal{O}$ 条 例 は 公 布  $\mathcal{O}$ 日 カュ 5 施 行 す る

2  $\mathcal{O}$ 港  $\sum_{}$ 項 兀 区 に 第 職  $\mathcal{O}$ 規 条 員 定 例 項  $\mathcal{O}$ \_ す 育  $\mathcal{O}$ る لح 児 施 里 休 行 親 業  $\mathcal{O}$ で 第 等 H 六 12 か あ 0 条 関 5 7  $\mathcal{O}$ す 平 養 兀 る 成 \_\_\_ 子 条 第 縁 例 + 号 組 第 九 に に 年 三 ょ 規 条 0 定  $\mathcal{O}$ 月 す 三 7 中 養 る + 親 養 لح 子 第 日 な 六 縁 ま る 組 条 で 里  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ لح 親 兀 間 \_ を 第 は 希 لح 号 望 あ \_\_ L る  $\mathcal{O}$ 7  $\mathcal{O}$ と 条 1 は あ 例 る る に 者 第  $\mathcal{O}$ ょ \_ 六 は る لح 条 改 す  $\mathcal{O}$ 第 正 る 兀 六 後 第 条  $\mathcal{O}$ 

説明)

る

働

地 者 地 方 方  $\mathcal{O}$ 公 福 公 務 務 祉 員 員 に  $\mathcal{O}$ 関  $\mathcal{O}$ 育 す 育 児 る 児 休 休 法 業 律 業 等  $\mathcal{O}$ 等 に に 関 部 関 す す を る 改 る 法 正 法 律 す 律 る 及 平 法 び 成 律 育 三 児 平 年 休 法 成 業 律 第 十 介 百 八 護 + 年 休 業 号 法 律 等  $\mathcal{O}$ 第 育 九 児 部 十 又 改 五. は 号 正 家 を 族 踏 等 介 ま  $\mathcal{O}$ 護 え を 施 行 行 う 条 に 例 ょ 労

で 定め ることとさ れ た 育 児 休 業  $\bigcirc$ 対 象 と な しる 子 に つい て 定 め る ほ か、 非 常 勤 職 員  $\bigcirc$ 育 児 休業

 $\mathcal{O}$ 

取 得 要 件 を 緩 和 す る た め、 本 案 を 提 出 V > た ま す。

案 第 五. 号

港 区 財 政 調 整 基 金 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 十 九 年 \_ 月 + 五 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 財 政 調 整 基 金 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 財 政 調 整 基 金 条 例 昭 和 兀 + 七 年 港 区 条 例 第 八 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ 

第 \_ 条 中 般 숲 計 純 剰 余 金 \_ を 港 区 \_ 般 숲 計 純 剰 余 金 \_ に 改  $\otimes$ 同 条 に 次  $\mathcal{O}$ 項 を 加 え

ょ

う

に

改

正

す

る

2 前 項 に 定 め る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カコ 前 条  $\mathcal{O}$ 目 的 を 達 成 す る た  $\Diamond$ 必 要 な 場 合 は 港 区 般 会

計

歳

入

歳

る。

る

出 予 算 以 下 予 算 لح 11 う  $\overline{\phantom{a}}$ で 定  $\Diamond$ る ک لح に ょ り 基 金  $\sim$  $\mathcal{O}$ 積 立 て を 行 うこ لح が で き

第 三 条 中 般 숲 計 歳 入 歳 出 予 算 \_ を 予 算 に 改 8 る

付 則

ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は 平 成 <u>-</u> + 九 年 兀 月 日 カゝ 5 施 行 す る

説 明

財 政 調 整 基 金 0) 積 <u>\f\</u> て 12 係 る 規 定 を 改  $\Diamond$ る た  $\emptyset$ 本 案 を 提 出 7 た L ま

す

議 案 第 六 号

港 区 震 災 対 策 基 金 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 十 九 年 \_ 月 + 五 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 震 災 対 策 基 金 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

題 名 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改  $\otimes$ る

港

X

震

災

対

策

基

金

条

例

平

成

九

年

港

区

条

例

第

几

号

 $\mathcal{O}$ 

部

を

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ う

に

改

正

す

る

港 区 震 災 後  $\mathcal{O}$ 区 民 生 活  $\mathcal{O}$ 再 建 並 び に 産 業 及 び ま ち  $\mathcal{O}$ 復 旧 復 興  $\mathcal{O}$ た  $\otimes$  $\mathcal{O}$ 基 金 条 例

第 条 中 震 災  $\mathcal{O}$ 予 防 応 急 対 策 及  $\mathcal{U}$ 復 旧 \_ を 震 災 後  $\mathcal{O}$ X 民 生 活  $\mathcal{O}$ 再 建 並 び に 産 業 及  $\mathcal{U}$ ま

ち  $\mathcal{O}$ 復 旧 復 興 に 港 区 震 災 対 策 基 金 \_ を 港 区 震 災 後  $\mathcal{O}$ 区 民 生 活  $\mathcal{O}$ 再 建 並  $\mathcal{U}$ に 産 業 及 び ま

5  $\mathcal{O}$ 復 旧 復 興  $\mathcal{O}$ た  $\otimes$  $\mathcal{O}$ 基 金 に 改  $\otimes$ る

第 条 に 次  $\mathcal{O}$ 項 を 加 え る

2 前 条 に 定  $\otimes$ る 目 的  $\mathcal{O}$ た  $\otimes$ に 寄 付 さ れ た 金 員 は 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ ŋ 積 4 立 て る 額 に 充 て る

لح が で き る

## $\bigcirc$ 条 付 例

は、 則 平 成 二 十

九

年

兀

月 一 日

カゝ 5 施

行 す

る。

(説 明)

震災 対 策 基金  $\bigcirc$ 名 称 及 び 目 的 を 改 め るた め、 本 -案 を 提 出 1 たし ます。

## 議 案 第 七 号

港 区 街 づ < ŋ 推 進 事 務 手 数 料 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る。

平 成 + 九 年 月 + 五. 日

提 出 者 港 X 長 武 井 雅

昭

港 区 街 づ < り 推 進 事 務 手 数 料 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 街 づ < ŋ 推 進 事 務 手 数 料 条 例 平 成 + 年 港 X 条 例 第 + 六  $\mathcal{O}$ 部 を 次 0) ょ う に 改 正

別 表 三 0) 部 を 次 0) ょ う に 改 め る。 する。

 $\equiv$ 建 築 魩  $\mathcal{D}$ 工 卞 ル ギ 消 費 生 能  $\mathcal{D}$ 白 上 に 푈 す る 去 聿 Z 基 づ 事 答 Z 係 る 手 数 料

ー 上で 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	する法律第十   条第   項に規定す非住宅部分   建築物のエネルギーの  及び口に掲げる区分に応じて物エネルギー消費性能適合性判定	合計 が 三百平方 の床面	二万七千百円
上に関	関する法律第十一条第一項に規定する非住宅部分を	計が三百平方メ	
法律第	。以下この部において同じ。)の用途が工場等	ル以上ニチ	
第一	貯蔵又は処理に供するもの、水産物の	トル未満のも	
は第十	場又は養殖場、倉庫、卸売市場、火葬場又はと畜	該部分の	八万四
第二項	物処理場、ごみ焼却場その他の処理施設をいう。	計が二千平方	
定に基	この部において同じ。)のみ	ル以上五千	
く建築物エ		トル未満のも	

二る法上では、一名法とに性が、一名法に性が、一名を表す。これでは、一名を表する。								性判定適合
次の1分び1二に掲げる 水の1分の1分が1二に掲げるが 1分の1分が1二に掲げる							分(以外の非住宅部)	
工場等のみのもの区分に応じて、次に掲げる額に確保計画の変更に係る建築物工		て同じ。) による場合項、二の項及び七の項に	価する方法をいうエネルギー消費量様の条件を基に算標準入力法等実	じ。)による場合二の項及び七の項におる方法をいう。以下こ準的な建築物を用いて	いう。 二次 エネ ルギー 消費量 -	イこ見定計る一欠 エネト レいう。)第   条第   項第下この部において   省令省令・国土交通省令第	省令 平成二十八年経済ギー消費性能基準等を定モデル建物法 建築物エ	
当該部分の床面積の 合計が三百平方メートル以上二千平方メー	トル財該 ル以上五千の 下で	ル未満のもぶ二千平方の床面	トル未満のも計が三百平方	トル以下のもの	計が五千平方メトル未満のもの	レは上五千平方下が二千平方下が一十ル未満のも	ル以上二千平 が三百平方 の床面	ートル以下のもの 合計が五千平方メー トル以上 一万平方メー
判定手数料 一万九千百円	六十四万六千円	五十 二万三千 七 七	円十六万七千百		三十万九千円	百円二十三万五千七	円四万五千七百	十 二 万 八 千 円
る変とのる変計更き提計画に又出画係はの書係								

一 一 一 一 一 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大						合 消 生 費 れ ル ル ル	に係の変更保 る建築更保 消	建定第は 築に三第 物基項十
二の項の一及び口に掲っ建築物 エネルギー消費性						⇒分(□)以外の非住宅部		
げる区分に応じて、同項に掲げる能確保計画の変更が軽微な変更に			② 標準入力法等による場合			(1) モデル建物法による場合		
額該当していることの証明	トル以下のも計が五千平方のまるの床面	トル未満のもの、ル以上五千平方メ	トル未満のも計が三百平方	トル以下のものル以上一万平方メが五千平方メを	トル未満のも計が二千平方	ル未満のものが三百平方メが三百平方メ	トル以下のも計が五千平方のまるの床面	トル未満のもの水以上五千平方メが二千平方メ
手 数 料	四十五万三千円	百円万六千七	円二十五万七千百	二十一万六千円	十六万五千百円	十万二千百円	九 万 円	五万六千四百円
の交証 と き 。 請 の								知 の と き。

対定上消ェづの十る向消ェ 証いに軽画性ル建定十第土二規る すの計費ネく規条法上費ネ建明る該微の能ギ築に一五交十則法 こ当な変確し物基条号通八 る申画性ル建定第律に性ル築 とし変更保消ェづの)省年平施 審請の能ギ築に一第関能ギ物 のて更が計費ネく規第令国成行 査に認向し物基項三すのしの ⊢のの合一向 項二にの上次築 提めてする適げ項三すの1のせ 出る区書こ合る各十る向消ェて申 又にお部にの物 さも長類とし基号条法上費ネ建請は規い二関→エ れのがとをて準に第律に性ル築に 二定て十す及ネ たが定し示いに掲二第関能ギ物併十すは五るびル 五る当の法口ギ の昇該二律に一 2 八降部の第掲消  $\mathcal{O}$ の機分項三げ費 建 1 項にごに十る性 築以戸 に係と掲条区能 物外建掲るにげ第分向 て げ部同る二に上 住 る分部額項応計 (2)(1) 宅 額が十 のじ画 築の 合の申と戸 の含の申規て認 手ま二請定、定 場請のご住 物建 数れのにに次申 の1当 料る項係基に請 の1当の1 当 一当 1 を場にるづ掲手 卜該 卜該 ト該ト該 | 築 加合掲計くげ数 消物住 ル住 ル住 ル住ル住 えにげ画申る料 費の宅 以戸 以戸 以戸未戸 性工部 たおるに出額 上の満の 上の 上の 額い額特が 能ネ分 \_ 床 五床 二床の床 千面も面 )ての定あ申 万面 千面 のル 向ギ建 のは手建っ請 平 積 平 積 平積の積 方の 手当数築たに 方の 方の  $\mathcal{O}$ メ合 メ合 メ合 合 数該料基場併 1 計 1 計 1 計 計 料昇を準合せ 平積当 を降加適にて トが トが 方の該 トが が メ合部 ル五 ルニ ル三  $\equiv$ 加機え合お建 1 計分 以千 未千 未百 百 えーた審い築 下 平 トがの 満 平 満 平 平 た基額査て物 額に、をはの の方 ル三床 の方 の方 方 っ建す、エ 未百面 もメ もメ もメ い築る一ネ て基部のル 同準分建ギ 部法が築し

のとき。

二第含物消

十八まに費

五十れっ性

の七るい能

七条場ての

九

千

七

百

Щ

兀

万

六

千

Щ

万千

円

九

千

七千

百百

円円

一万千

円

Ŧī.

場合以外の														場合
1														
戸建て住														
宅														請 の の 申
ートル未満のものへ						口 非住宅部分					同じ。	にう	規定する住	十一条第一に関する法
合計が二百平方メ	トル以下のもの 上一万メートル以下のもの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ル未満のも	該部分の床	ちょートレの合計が三 が一分の床	の方でもメイカー トルコ	の合計が三該部分の床	ル以下のも	方の該 メ合部	ル未満のも五千平方メ	方メートル	核部分の末	二千平方メ	の合計が三	核部分の末
三万四千四百円	十二万八千円		八万四百円	二万七千百円		九千七百円		八万千円		; ; ;	四万六千円		- - - - - F	二万千円

								2 の建築物 外	
				(2) の築の 申物建_		合	の申と 場請の		
方メートルの合計が三	ル 一万平方 大メートが 五メートが 五メートが 五メートが 五メートが 五水	トル未満のもの上五千平方メートル以平方メートル以当該部分の床面	ルニオの古が、大きのでは、大きのでは、カールのでは、カールがのできます。	のもの おメートル に に が に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に	のートル以上一万平方メートル以下のも当該住戸の床面積の合計が五千平方メ	のトル以上五千平方メートル未満のも当該住戸の床面積の合計が二千平方メ	ル以上二千平住戸の床面積	トル未満のものと計が三百該住戸の床面積の合計が三百	お住宅の床面
八 万七千 百円	二十八万千円	十九万六千円	十一万六千円	六 万九 千 百円	二十八万千円	十九万六千円	十一万六千円	六万九千百円	三万八千四百円

い熱空び│次算条設等標にい五方で築が土のいのと年周いこ負間屋に第省建きに費 て負間屋消ェ定件計準よての法評物定交とる算い間囲ての荷の内規一令築標用量 評荷の内費ネしを仕実入る同項を価をめ通しべ出う熱空 項 年周定号第物準いの価を年周量ルた基様際力場じにいす用る大てきに。負間屋に以間囲すイナ及的る算す用間囲及ギーにのの法合。おうるい建臣国も用)荷の内お下熱空る(1)条びなべ出 積当卜上平積当満平積当 ト上平積当 ト上平積当 ト上平積当満 の該ルニ方の該の方の該 ルー方の該ル五方の該ルニ方の該の 合部未千メ合部もメ合部 以万メ合部未千メ合部未千メ合部も 下平|計分満平|計分満平|計分の 計分満平一計分の一計分 がのの方トがの の方トがのの方トがのの方トがの トがの 二床もメル三床 ル三床 もメル五床もメル二床もメル三床 千面の一以百面 の一以千面の一以千面の一以百面 未百面 百五 円三 円二 円十 百二 円十 + + 円十 兀 + 六 万 万三千 万 万 万 万 五. 千 七 七 九 五 千 千 千 千 七 七 円 百 百 七 百

			る	かります。	上計画の	エネルギ	づの - く規彡	上 注 注 第 三	上に関すの	ネルギー	
合	出る区 さも長 れのが	す書類としてい	る各十る 表号条法 集に第年	ら 向消 法上費 性に性	のエネルギ	申請に併	数料を加えた額該昇降機一基に	科を叩えた質、 基準適合審査を	場合においては上に関する法律	次の一及び口に築物エネルギー	
	(0)				2 の建築物 物外	建て住	いて同部二	軽甚 隼去 寛る部分 が含	一の建築物三十 一条第	掲げる区分に応消費性能向上計	
場請の負の申集				申と		宅	五 - の - 七 彡	上れる場	つ い に お	じて、次回変更認	
もメル三床	平方メ   住宅部分	の 一トル以上 一万平方メートル以下のも当該住戸の床面積の合計が五千平方メ	ートル以上五千平方メートル未満のも当該住戸の床面積の合計が二千平方メ		トル未満のも		項又は二十五の八の項に掲げる額の手数料項以は二十五の八の項に掲げる額の手数料	ここ見定ける早条幾こ系る邪分が含まれるにおいては当該部分ごとに同部十の二の項	の部二十五の二の項に掲げる額 申請に係て準用する同法第三十条第二項の規定に基	に掲げる額・申請に併せて建築物のエネル定申請手数料	場合平方メートル以下のものまいて同トル未満のものおいて同トル未満のもの上二万平方メートル以上五千平方メートル以
一万五千円	六千九百円	五万七千円	三万二千円	一万五千円	六千九百円	千七百	加えた額)	合こさいて掲げる額の	る計画に特定建づく申出があっ	一消費性能	六十四万六千円
										申請のと変更認定	

		場合以外の																			
2 の建築物 1以外		1 一戸建て																			
(1) 戸 ご 住		住宅																			
当該住戸の床面積の合計	ル以上 一万平方メ住宅の床面積の合	未満のものの											口 非住宅部分								
前が三百平方メ	トル以下のも	計が二百平方メ	ル以下のもノラス	アラメートレス積の合計が五千当該部分の床面	ル未満 のも	方メートルの合計が二	該部分の床	ル未満のも二千平方メ	方メートル	の合計が三該部分 の床	のものした	ヺ の へ 計	該部分の床	ル以下のも	一万平方メカル	の合計が五	該部分の床	ル未満のも	五千平方メ	方メートレの合計が二	あかけぶ こ該部分 の床
四万八千五百円	二万七千円	二万四千二百円		九 万 円			五万六千四百円			一万九千百円			六千九百円				五万七千円				三万二千円

			(2) の築の 申物建_		合の申と場請の
部会とまる法による場場			イ 住宅部分	以上 一万の床 面積 の 方平方の 方平方の	下ル以上二千平方 該住戸の床面積の である。
未千メ合部 満平 計分の 計分 の方トがのトがの もメル三床 ル三床	ルー方の該ル五方	がの該ル二方の該は一方の該は一十分の部では、 一十分の方では、かの方の方がのです。 かのため、かのため、かのため、	のもの おメートル ルニネル	計	合計が三百平方メ
十 万 六 万 千 百 円		十 三 万 八 千 円	四万八千五百円	十九万七千円	十 三 万 八 万 千 円

大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大						
項の①及び⑵に掲げる区分に応じてエネルギー消費性能向上計画の変更						
て、同項に掲げる額更が軽微な変更に該当して		1. 上 亚 全 址	上亚往火	合等による場と なる まで ひょう はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	上亚律业	1. 上亚 律 业
いることの証明手	ル以下のもの 一万メートル以下のもか 五千のまれる 一方メートル以 五千のまる 一角	ル 末 ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ	トル未満のもの 出該部分の床面 である計が三百 のより の床面	カカの該の ある かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり かり	一万平方の 万子ートル 五子ルの 大子の 大子の 大子の 大子の 大子の 大子の 大子の 大子	ル五方の該未千メ合部
数 料		百円六万六千七	円二十五万七千百	十五万九千百円	二十一万六千円	十六万五千百円
の 交 証 と 付 申 書 。 請 の						

		査 に 認 対 定 す σ	) 足工 に 基準 に 適合 音	ェ ネ ル 建	の	上 費 性 関	ネ建ルギ物	とし変更上消ェ のて更が計費ネ
		た 場	いかだめるも が定めるも として区長	示する	に 費 ネ 適 性 ル	て建 龍 に	─ 及び口	
	ı				の建築物	1以外 一戸建て住	に準	
(2) 非住宅 部分					, :	1) 住宅部分	応じて、次に掲げる額に適合している旨の認定申請	
ル三床 ル三床	ルー方の該部 アスト計の のもメル五床	ル五方の該 未千メ合部	ル未満のも	あ合計が三 次の 京	の方のもメ合	該部分の床	手数料	
二 万 九 七 千 百 円	八 万 千	四 万 六 千 円		二万千円	-	九千七百円五千百円		
							のとき。請	

-						
				□ 場合 □ 以外の		
2 の 建 1 築 以 物 外				1 て住 一戸 宅 建		
(1) 分 住 宅 部		において同じ。 める基準をいう がる基準をいう で が る を の の の の の の の の の の の の の の の の の の		合 る基準をいる がる基準をいる		
号又及項第二条 で開発を で開発を では同号号イイ でののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		)による場合い同号 ロ(2)に定い同号 ロ(2)に定		う。)による場び同号口(1)に定		
三床 ル三床	ルー方の該 以万メ合住	のもの おメートル の合計が二 ル	ル 一 方 の 該 以 万 メ 合 住	のものよりというの合計が二	トル以下のもの 出方メートル以下のもの おが五千のようのまの	ル五方の該 水大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大子 大がのの もメルニ床 もメルニ床
十	百	一万七千七百円	三万八千四百円	三万四千四百円	十二万八千円	八 万 四 百 円

(2) 部 分非 住 宅						
による場合				る場合 準によ		進をいう。)
該部分のものよりのよりのようでは、 おいまり かいまい かい かい に おい こ はい かい こ はい いい はい いい はい はい はい はい はい はい はい はい はい	ルー方の該 以下平十計分 のお がの もメル五床	ル五方の該 未千メ合部 満平   計分	ル 末 ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ	あまれる ある ある かる から から から から から から から から から から から から から	ルー方の該部 アマートがのま のもメル五床	上二千平方メートル未満のもの 下が床本 下カメートルよー 大ル・ボールル・ボールル・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・
十四万万五千七百 円	十 五 万 七 千 円	千	五万八千円	三万三千百円	二十八万千円	十九万六千円

備考

																			ょ	準													
																			場	力													
人 万 下 平	: ]	? 言	î î	部 分	未満	: 千 i 平	<u>.</u>	メ	合計	部分	未満	į =	F F	メー	合計	部分	も の	メー	合計	· 部 · 分	以下	万平	メニー	合計	部分	未満	千平	メー	合計	部分	未満	: 千 i 平	メー
			-	+											円	+			円	+					<u>=</u>					+			
										万三千										万七千										万五千			
	- 人下 つっ一万平方 メ	一万平方 メーカー カーカーカー カーカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	レーカの 一万平方メート カメートルヨ	ループ からい カップ アングラング アングラング アングラング アングラング アングラング アングラング アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	レ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ル末満のもの 大マンカン) 一万平方メートル以 一万平方メー 六十四万	ル末満のもの 六十四万の合計が五千 六十四万	ル末満のもの カメートル以 カメートル以 大下の方メートル以 大十四万	大学 ファイン カット カット カット カット ルスドッカット アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	ルーカス の合計が二千 万メートル以 万平トトル以 六十四万 の合計が二千 百円 万 の合計が二千 万 の	ルステント が 二千 四 で 一方の 高 部分の 床面 が 二千 平 月 ト ル 以 下 平 ト ト ル 以 下 万 ト ル コ ト ー 四 一 五 十 二	ル末満の音が出手 百円 五十二 四 一	ルーカの該部 カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カー	ルーカの該 水表満の あった 大平 一方の おお 一	ルニカの該 ル五方の該 ルエカの該 部分の合計が未満 アートが 一人 アート が 一人 アート ル 以 一百 円 二 十一四	ル 五方の該 ル 五方の該 ル 五方の該 ル 五方の部 末千 メート が 未満 平 ト が の も の か ま ア ト が 正	ルニカの該部 カの高談部分の高談部分の高部分の表別の表別の表別のもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもの	ルニカの該部 カー	ルニ方の該 ルニ方の該 ルニ方の該 大子メートがの 大平 ー計がの 大子メートがの のもの ・カートがの ・カートが五年 のもの ・カートが五年 のもの ・カートが五年 のもの ・カートが五年 のもの ・カートが一年 ・カートが ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと ・カーと	はる場合 はる場合 はる場合 平方メート 積	準入力法等 出該等 当該部分の床面 当該部分の床面 当該部分の床面 上上二千平方メートル未満のものトル未満のもかが三百 上上五千平方メートル未満のものトル未満のものトルスデッカメル以 エカメートル未満のものトルスデッカメル以 エカメートルスデッカメー エカメートルスデッカメー エーカスデッカメー エーカスデッカステッカメー エーカスデッカルエ エーカステッカルエ エーカスデッカルエ エーカスデッカルエ エーカスデッカルエ エーカスデッカルエ エーカステッカルエ エーカーエ	場合等 場合 場合 場合 場合 場合 場合 等 当該部 方 外	本人力法等 として	本人力法等 はる場合 当該部分の合計がの合計がのものトルようの合計がの方と、上一万平方メートルようの合計がの方と、上一万平方メートル未満の合計がの方と、上一万平方メートル未満の合計がの方と、上一万平方と、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方、上一方	本人力法等 は一方 本方 大 一 万 平 方 メートル以下の ちょう トルス 下の合計が のもの トルエチ ア 方 メートル 大 下の 方 メートル 未 平 方 の お か か か か か か か か か か か か か か か か か か	本人力法等 は高別法等 は高別法等 は高別法等 は高別法等 は高別法等 は高別法等 は高別法等 は一方法の合計が高い。 と上方の合計がのもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもの	本人力法等 はる場合 を	本上平積 当該部分の合計がのものトル末満のものトル五千平方メートがのものトル五千平方がのものトル五千平方がのものトル五千平方がのものトル五千平方がのまりのもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもののもの	本上平積当	本上平積当該部分合部 ドルエチェートル 大田 一月 一月 日 日 十四 一月 日 十四 一月 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1	本上平積当該部分合部分の合計がの合かがののもりのよりに対して、大工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	よ準 る場方 表力力法 等 上平積当 当該部分 下上五方の合部 下上五方の合部 下上五方の合部 下上五方の合部 下上五方の合部 下の合部 下の合部 大上二方の合部 下の合部 大上二方の合部 下の合部 大川、大田工がの合 での合部 大川、大田工がの合 での合きがのである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工がののである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのである。 大田工でのできる。 大田工でのでのできる。 大田工でのできる。 大田工でのでのでのできる。 大田工でのでのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのでのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのででのできる。 大田工でのできる。 大田工でのできる。 大田工でのでのできる。	よ準 る場合 場合 場合 大上平積当 ト上平積当 下上平積当 下上の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の

合 用 ネ 合 部 性  $\mathcal{O}$ ル ギ 手 分 判 数 定  $\mathcal{O}$ 1 料 う 消 手 5 費 数  $\mathcal{O}$ 額 居 性 料 は 住 能 又 者 適 は 当 合 以 建 該 築 外 性 共 判  $\mathcal{O}$ 物 用 者 定 エ 部 手 ネ  $\mathcal{O}$ 分 数 4 ル  $\mathcal{O}$ が 料 ギ 全 利 等 7 用 消 を す と 費 非 る 性 V 住 う。 部 能 宅 分 確 部 保  $\mathcal{O}$ 床 に 分 計 لح 面 0 画 積 4 V  $\mathcal{O}$ な  $\mathcal{O}$ て、 変 L 合 更 複 て 計 が 算 が 合 軽 出 居 建 微 L 住 築 な た 者 物 変 額 更  $\mathcal{O}$ لح 非 に 4 す が 住 該 る。 利 宅 当 用 部 L す 分 7 る لح V 住 部 る 分 宅 ح 部  $\mathcal{O}$ 床 分  $\mathcal{O}$ 面 を 証 積 含 明 手  $\mathcal{O}$ ts 合 建 数 計 築 料 ょ 物 ŋ を 以 大 V 下 き Ď < 建 な 築 る 物  $\mathcal{O}$ 場 共  $\tau$ 

当 積 該 に 建 築 部 対 す 物 分 を る 工 含 常 ネ 時 む ル 非 外 ギ 住 気 1 宅 に 消 部 費 開 分 放 性 さ 能  $\mathcal{O}$ 床 適 れ 面 た 合 積 開 性 判  $\mathcal{O}$ П 合 部 定 計  $\mathcal{O}$ 手 数 に 面 応 料 積 等 じ  $\mathcal{O}$ て 合 に 算 計 0 出  $\mathcal{O}$ 11 割 L て、 た 合 内 額 が と 部 + す に る 分 間 仕  $\mathcal{O}$ 切 以 壁 又 上 で は あ 戸 を る 非 有 住 L な 宅 部 V 階 分 を 又 有 は す そ る  $\mathcal{O}$ 建 築 部 物 で あ  $\mathcal{O}$ 丰 0 数 て 料 そ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 額 床 は 面

建 築 物 エ ネ ル ギ 1 消 費 性 能 適 合 性 判 定 手 数 料 等 に 0 11 て、 非 住 宅 部 分 に 工 場 等  $\mathcal{O}$ 用 途 を 含 む  $\mathcal{O}$ 建 築 物  $\mathcal{O}$ 手 数 料  $\mathcal{O}$ 額 は  $\mathcal{O}$ 

兀 建 築 物 工 ネ ル ギ 1 消 費 性 能 適 合 性 判 定 手 数 料 等 に 0 V て、 特 定 建 築 行 為 に 該 当 す る 増 築 若 L < は 改 築  $\mathcal{O}$ 場 合 又 は 特 定 建 築 物 以

申 لح ル す ギ 請 建 築 る。 手 1 物 数 消 料 費 た エ だ 等 性 ネ 能 し、 ル لح 向 ギ 住 上 11 1 う。 宅 計 消 部 費 画 分 性  $\mathcal{O}$ 又 変 能 に は 更 向 0 非 が 上 V 住 て、 軽 計 宅 微 画 認 部 な \_ 定 分  $\mathcal{O}$ 変 が 建 更 申 存 築 に 請 在 該 物 手 当 数 L  $\mathcal{O}$ な 申 料、 L V 請 T 場 建  $\mathcal{O}$ 11 合 場 る 築 は 合 物 لح  $\mathcal{O}$ エ 当 ネ 手  $\mathcal{O}$ 該 数 証 ル 部 料 明 ギ 分  $\mathcal{O}$ 手 額 数 消  $\mathcal{O}$ 額 料 費 は は 性 合 住 以 能 算 宅 下 向 L 部 上 な 建 計 分 築 画 ٧١  $\mathcal{O}$ 物 変 額 更 及 工 ネ 認 び 非 定 ル 住 ギ 申 宅 請 1 部 消 手 数 分 費 性 料  $\mathcal{O}$ 額 能 又 な 向 は 上 建 合 算 計 築 画 物 L 認 た  $\neg$ 額 定 ネ

五.

外

 $\mathcal{O}$ 

建

築

物

 $\mathcal{O}$ 

増

築

 $\mathcal{O}$ 

場

合

 $\mathcal{O}$ 

手

数

料

 $\mathcal{O}$ 

額

は

当

該

増

築

又

は

改

築

に

係

る

部

分

 $\mathcal{O}$ 

床

面

積

 $\mathcal{O}$ 

合

計

に

応

U

て

算

出

L

た

額

と

す

る

項

又

は

 $\mathcal{O}$ 

項

 $\mathcal{O}$ 

 $(\underline{\phantom{a}})$ 

 $\mathcal{O}$ 

X

分

に

ょ

ŋ

算

出

L

た

額

と

す

る。

六 同 時 建 築 に す 物 る エ 場 ネ 合 ル ギ  $\mathcal{O}$ 丰 1 数 消 費 料 性  $\mathcal{O}$ 額 能 向 は 上 計  $\mathcal{O}$ 画 認 建 定 築 申 物 請  $\mathcal{O}$ 申 手 数 請 料  $\mathcal{O}$ 場 等 合 に に 0 ょ ٧١ ŋ て、 算 出 同 L た  $\mathcal{O}$ 額 建 لح 築 す 物 る に お V て 住 戸 と  $\mathcal{O}$ 申 請 لح  $\mathcal{O}$ 建 築 物  $\mathcal{O}$ 申 請 を

七 申 7 請 な 建 す 築 L 物 て る 算 場 工 出 合 ネ L  $\mathcal{O}$ ル た 手 ギ 数 額 1 لح 料 消 す 費  $\mathcal{O}$ 額 性 る 能 は 向 当 上 該 計 非 画 住 認 宅 定 部 申 分 請  $\mathcal{O}$ 手 数 床 面 料 積 等  $\mathcal{O}$ に 合 0 ٧١ 計 を て、  $\mathcal{O}$ 住 建 宅 築 部 物 分 及  $\mathcal{O}$ 申 び 非 請 住  $\mathcal{O}$ 場 宅 合 部 に 分 を お け 有 す る 非 る 住 建 宅 築 部 物 分  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 非 床 住 面 宅 積 部 分  $\mathcal{O}$ 合  $\mathcal{O}$ 計 4 لح を

す る。 建 築 物 た だ エ ネ L ル 住 ギ 宅 1 部 消 費 分 性 又 能 は 非 基 住 準 宅 に 部 適 分 合 が L 存 て 在 V L る な 旨  $\mathcal{O}$ 場 認 合 定 は 申 請 当 手 該 数 部 料 分  $\mathcal{O}$ 額  $\mathcal{O}$ 額 は は 合 住 算 宅 部 な 分  $\mathcal{O}$ 額 及 び 非 住 宅 部 分  $\mathcal{O}$ 額 を 合 算 L た 額 لح

付則

 $\mathcal{L}$ 0 条 例 は、 平 成 二 十 九 年 匹 月 一 日 カ 5 施 行 す る。

**說** 明)

建 築 物 0) エネ ル ギ ] 消 費 性 能 0) 向 上に 関 す る 法 律 平 成二十七年 法 律 第 五 十三号) の 施 行 に

伴 **!**; 手 数 料 を 新 設 す る た め、 本 案 を 提 出 11 た L ま す。

案 第 八 号

港 区 特 定 公 共 賃 貸 住 宅 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

亚 成 + 九 年 <u>-</u> 月 + 五 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 特 定 公 共 賃 貸 住 宅 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 特 定 公 共 賃 貸 住 宅 条 例 平 成 五. 年 港 区 条 例 第 +六 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る

及 び 第 \_ 管 理 条 す 第 る 住 号 宅 中 並  $\neg$ 管 び に 理 開 に 始 改 後 当  $\otimes$ 分 同  $\mathcal{O}$ 間 条 第 玉  $\equiv$  $\mathcal{O}$ 号 補 を 助 同 を 受 条 第 け 五. て 号 使 لح 用 料 L `  $\mathcal{O}$ 同 減 条 額 第 を 行 号 う を 住 同 宅 条 及 第  $\mathcal{U}$ \_ 兀 号 を لح

L 同 条 第 号  $\mathcal{O}$ 次 に 次  $\mathcal{O}$ 号 を 加 え る

般 型 住 戸 特 定 公 共 賃 貸 住 宅  $\bigcirc$ 住 戸  $\mathcal{O}$ Ž 5 高 齢 型 住 戸 を 除 < Ł  $\mathcal{O}$ を 1 う 0

三 高 齢 型 住 戸 特 定 公 共 賃 貸 住 宅  $\mathcal{O}$ 住 戸  $\mathcal{O}$ う 5 高 齢 者 向 け 0 ŧ  $\mathcal{O}$ を 1 う

第 三 条 第 項  $\mathcal{O}$ 表 に 備 考 と L て 次  $\mathcal{O}$ ょ う 12 加 え る

備 考 ک  $\mathcal{O}$ 表 で 定  $\Diamond$ る 戸 数  $\mathcal{O}$ う ち 高 齢 型 住 戸  $\mathcal{O}$ 戸 数 は 区 規 則 で 定  $\Diamond$ る

項 住 使 \_ لح 中 戸 用 第 七 き  $\mathcal{O}$ は 第 に 申 条 改 第 込 \_ 項  $\Diamond$ 4 \_\_\_ 各  $\mathcal{O}$ を 項 下 号 同 L 中 \_ に 項 ょ 第 う 特  $\mathcal{O}$  $\neg$ 第 下 لح 定 \_\_ に 号 す 公 中 る 共 項  $\neg$ 第 又 者 賃 は 含 貸 は \_\_\_ \_ 号 住 第 む \_ 宅 又 に  $\mathcal{O}$ は 項  $\mathcal{O}$ \_ 各 下 使 号 単 用 を に \_ 加 身  $\mathcal{O}$ 0 者 申 え を 加 用 込 次 4 同 え 項 特 項 第 定 を を 同 兀 公 L 号 ょ 同 項 共 う 条 を に 賃 第 貸 لح 同 お 三 す 条 住 11 項 第 7 宅 る \_ لح 兀 者 同 ľ L 項 を は \_ \_\_ と を 単 同 L を 加 条 身 者 第 え \_ 同 条 用 般 項 型 第 同  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 条 住 項 次 第 般 戸 に 中  $\equiv$ 型  $\mathcal{O}$ 

2 高 齢 型 住 戸  $\mathcal{O}$ 使 用  $\mathcal{O}$ 申 込 4 を L ょ う لح す る 者 は 次 に 撂 げ る 要 件 を 満 た す 者 で な け れ ば な 次

 $\mathcal{O}$ 

項

を

加

え

る

5

な

11

本 人 又 は 号 本 か 人 若 L < は 配 偶 者  $\mathcal{O}$ 親 若 L < は 子 が 区 内 に 居 住 L て 11 る

 $\equiv$ 本 人 が 六 + 五. 歳 以 上 で あ る  $\subseteq$ لح

前

項

第

三

5

第

六

号

ま

で

に

掲

げ

る

要

件

を

湍

た

L

て

11

る

 $\sum_{}$ 

と

 $\mathcal{O}$ 下 六 に 兀 第 + + 五. 現 歳 六 に 高 以 齢 条 同 上 型 第 居  $\mathcal{O}$ 住 L 直 戸 項 系 に 第 又 尊 \_\_ は あ 属 0 뭉 同 若 7 中 居 L は L < 使 者 ょ う 用 が は لح 六 者 + \_ す  $\mathcal{O}$ 五. 六 る  $\mathcal{O}$ + 者 歳 下 以 五 に が 上 歳 あ  $\mathcal{O}$ 以 \_\_ る 直 上 般 場 系 型  $\mathcal{O}$ 合 卑 配 に 住 属 偶 戸 あ 者 に 0 を 又 あ て 加 は 0 は え 使 7 る 用 は そ 者 \_  $\mathcal{O}$ 若 者 を が L 親 < は 直 族 そ 系 で  $\mathcal{O}$ 尊 あ 配 属 る ک 偶 ح 者  $\mathcal{O}$ 

۲  $\mathcal{O}$ 条 付 例 は 則 ` 区 規 則 で 定  $\otimes$ る 日 か 5

施

行

す

る

します。

特定 公共賃貸住宅の一部  $\mathcal{O}$ 住戸を高齢者 向けに転 用できることとするため、 本案を提出いた

議 案 第 九 뭉

港 区 営 住 宅 条 例 0) \_ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 月 + 五. 日

出 者 港 区 長 武 井 雅

昭

提

港 区 営 住 宅 条 例  $\mathcal{O}$ \_ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 営 住 宅 条 例 平 成 六 年 港 区 条 例 第 兀 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ 

第  $\equiv$ 条  $\mathcal{O}$ 表 港 区 営 住 宅 シ テ イ ハ 1 ツ 六 本 木 0) 項 中  $\neg$ 兀 + 五. 戸 Ĺ を  $\neg$ 五. +戸 単 身 者 用 +

ょ

う

に

改

正

す

る。

兀

戸 を 含 む 0 に 改  $\otimes$ る。

付 則

ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は ` 区 規 則 で 定  $\Diamond$ る 日 か 5 施 行 す る。

説 明

区 営 住 宅 シ テ 1 ハ 1 ツ 六 本 木 0) 建 替 え に 伴 い、 戸 数 を 変 更 す る た め、 本 案 を 提 出 ١, た L ま す。

議 案 第 + 号

港 区 <u>\</u> 7 き 1 き プ ラ ザ 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条

例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 \_ 月 + 五. 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 <u>\</u> 1 き 1 き プ ラ ザ 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

表 \_  $\mathcal{O}$ 部 (-) $\mathcal{O}$ 款 中  $\neg$ 小 学 生 • 中 学 生 \_ を 小 学 生 • 中 学 生 • 高 校 生 に 改  $\Diamond$ る

付 則 別

港

X

立

11

き

1

き

プ

ラ

ザ

条

例

平

成

+

年

港

区

条

例

第

+

号

 $\mathcal{O}$ 

部

を

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に 改

正

す

る。

ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は ` 平 成 \_ + 九 年 兀 月 \_\_ 日 か 5 施 行 す る

説 明

11 き 1 き プ ラ ザ  $\mathcal{O}$ 個 人 利 用  $\mathcal{O}$ 使 用 料 に 0 11 て、 高 校 生  $\mathcal{O}$ 区 分 を 定 め る た め、 本 案 を 提 出 ١, た

し ま す。

号

港 区 <u>\</u> が  $\lambda$ 在 宅 緩 和 ケ ア 支 援 セ ン タ ] 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 月 + 五. 日

提 出 者 港 区 長 武 井 雅

昭

港 区 <u>\f</u> が  $\lambda$ 在 宅 緩 和 ケ ア 支 援 セ ン タ 条 例

目 的

第 条 ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は が  $\lambda$ 患 者 が  $\lambda$ 患 者 で あ 0 た 者 を 含 む 以 下 同 じ  $\overline{\phantom{a}}$ が 住 4 慣 れ た 地 域

で 安 心 L て 療 養 生 活 を 営 む と が で き る ょ う が  $\lambda$ 患 者 及 び そ  $\mathcal{O}$ 家 族 を 支 援 す る た  $\otimes$ 港 区

<u>\f</u> が  $\lambda$ 在 宅 緩 和 ケ ア 支 援 セ ン タ 以 下 セ ン タ ] と 11 う  $\mathcal{O}$ 設 置 及  $\mathcal{U}$ 管 理 運 営 に 関

必 要 な 事 項 を 定  $\Diamond$ る と を 目 的 と す る。

ン タ ] 0) 名

称

及

び

位

置

は

次

0)

لح

お

ŋ

とす

る。

第

セ

名

称

及

び

位

置

名 称

位

置

東

#### 事 業

第 三 条 セ ン タ は 第 条 に 定  $\emptyset$ る 目 的 を 達 成 す る た  $\otimes$ 次  $\mathcal{O}$ 事 業 を 行

が  $\lambda$  $\mathcal{O}$ 医 療 相 談 又 は が  $\lambda$  $\mathcal{O}$ 在 宅 に お け る 緩 和 ケ ア  $\overline{\phantom{a}}$ が  $\lambda$ 患 者 に 係 る う。 身 体 的 若 L は

的 な 苦 痛 又 は 社 会 生 活 上  $\mathcal{O}$ 不 安 を 緩 和 す る کے に ょ ŋ そ  $\mathcal{O}$ 療 養 生 活  $\mathcal{O}$ 質  $\mathcal{O}$ 維 持 向 上 を 义 る

が  $\lambda$ 患 者  $\mathcal{O}$ 在 宅 に お け る 療 養 生 活  $\mathcal{O}$ 支 援 に 関 す る ک حے °

三

が

 $\lambda$ 

患

者

及

 $\mathcal{U}$ 

そ

 $\mathcal{O}$ 

家

族

並

び

に

そ

れ

5

を

支

援

す

る

者

 $\mathcal{O}$ 

交

流

に

関

す

るこ

<u>ک</u> °

 $\overset{\sim}{\smile}$ 

لح

を

主

た

る

目

的

と

す

る

看

護

そ

 $\mathcal{O}$ 

他

 $\mathcal{O}$ 

行

為

を

1

う

に

係

る

相

談

に

関

す

る

<

精

神

兀 が  $\lambda$ 対 策 に 係 る 普 及 啓 発 に 関 す る ۲ ک °

五. が  $\lambda$ 患 者 及 び そ  $\mathcal{O}$ 家 族  $\mathcal{O}$ 支 援 に 係 る 関 係 機 関  $\mathcal{O}$ 調 整 に 関 す

ること。

六 が  $\lambda$ 患 者 及 び そ  $\mathcal{O}$ 家 族 を 支 援 す る 者  $\mathcal{O}$ 育 成 に 関 す る こ と。

七 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 利 用 12 関 す る \_ <u>ک</u> °

八 前 各 号 12 掲 げ る t  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カゝ 区 長 が 必 要 لح 認  $\otimes$ る 事 業

#### 施 設

第 兀 条 セ ン タ ] に 置 < 施 設 は 次  $\mathcal{O}$ لح お り لح す る

## 相 談 室

二 交流スペース

三講習室

四 情報コーナー

(休館日)

第 五. 条 セ ン タ 1  $\mathcal{O}$ 休 館 日 は 次  $\mathcal{O}$ と お ŋ と す る 0 た だ L 区 長 が 必 要 と 認  $\Diamond$ る لح き は

ک

れ

を 変 更 L 又 は 臨 時 に 休 館 す る  $\subseteq$ لح が で き る

一日曜日

玉 民  $\mathcal{O}$ 祝 日 に 関 す る 法 律 昭 和 \_ + 三 年 法 律 第 百 七 + 八 号  $\overline{\phantom{a}}$ に 定  $\otimes$ る 休

日

三 <del>--</del> 月 日 及 び 同 月 三 日 並 び に + \_ 月 \_ + 九 日 か 5 同 月  $\equiv$ + \_ 日 ま で

(開館時間)

第 六 条 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 開 館 時 間 は 午 前 + 時 か 5 午 後 九 時 ま で لح す る 0 た だ L 土 曜 日 に あ 0

て

は 午 前 十 時 か 5 午 後 五 時 ま で لح す る

2 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 12 か カュ わ 5 ず 区 長 が 必 要 لح 認 め る と き は 開 館 時 間 を 変 更 す る \_ لح が で き る。

(利用できるものの範囲)

第 七 条 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 事 業  $\mathcal{O}$ う 5 第 三 条 第 \_\_ 号 及 び 第 号 に 掲 げ る 事 業 を 利 用 で き る 者 は 区

内 に 住 所 を 有 す る が  $\lambda$ 患 者 及 び そ  $\mathcal{O}$ 家 族 並 び に そ れ 5 を 支 援 す る 者 لح す る

2 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ う 5 講 習 室 を 利 用 で き る ŧ  $\mathcal{O}$ は が  $\lambda$ 患 者 を 支 援 す る 寸 体 لح す る。

掲

げ

る 事 業 又 は 講 習 室 を 利 用 す る ح لح が で き る 0

(利用の承認)

第 八 条 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ う ち 講 習 室 を 利 用 L ょ う と す る ŧ  $\mathcal{O}$ は あ 5 カコ ľ  $\otimes$ 区 長  $\mathcal{O}$ 承 認

を

受けなければならない。

2 区 長 は 前 項  $\mathcal{O}$ 承 認 に 当 た り、 必 要 な 条 件 を 付

す

る

ک

لح

が

で

き

る

(利用の不承認)

第 九 条 区 長 は 次  $\mathcal{O}$ 各 뭉  $\bigcirc$ 1 ず れ か に 該 当 す る لح き は 利 用  $\mathcal{O}$ 承 認 を L な 1

公  $\mathcal{O}$ 秩 序 又 は 善 良  $\mathcal{O}$ 風 俗 を 害 す る お そ n が あ る لح 認 8 る لح き

二 営利を目的として利用するとき。

三 管理上支障があると認めるとき。

兀 前 三 号 に 撂 げ る 場 合  $\mathcal{O}$ ほ か ` X 長 が 不 適 当 と 認 8 る と き。

(使用料)

第 + 条 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 使 用 料 は 無 料 と す る

(利用権の譲渡等の禁止)

第 + 条 利 用  $\mathcal{O}$ 承 認 を 受 け た ŧ  $\mathcal{O}$ は 利 用  $\mathcal{O}$ 権 利 を 譲 渡 L 又 は 転 貸 L 7 は な 5 な 1

施設の変更禁止)

第 + \_ 条 セ ン タ ]  $\mathcal{O}$ 施 設 を 利 用 す る ŧ  $\mathcal{O}$ 以 下 利 用 者  $\sqsubseteq$ لح 1 う は セ ン タ 1 受  $\mathcal{O}$ け 施 た 設 لح に

特 別  $\mathcal{O}$ 設 備 を L 又 は 変 更 を 加 え て は な 5 な 1 0 た だ L あ 5 か じ  $\Diamond$ 区 長  $\mathcal{O}$ 承 認 を

利 用 承 認  $\mathcal{O}$ 取 消 L 等

き

は

 $\mathcal{O}$ 

限

ŋ

で

な

1

第 + 三 条 X 長 は 次  $\mathcal{O}$ 各 号  $\mathcal{O}$ 1 ず れ か に 該 当 す る لح 認 8 る لح き は 利 用  $\mathcal{O}$ 承 認 を 取 ŋ 消

又 は 利 用 を 制 限 L 若 L < は 停 止 す る لح が で き る

利 用 目 的 又 は 利 用 条 件 に 違 反 L た لح き

 $\subseteq$ 

 $\mathcal{O}$ 

条

例

若

L

<

 $\sum_{i}$ 

に

基

<

規

に

L

又

は

長

 $\mathcal{O}$ 

指

示

に

従

わ

な

11

لح

き

は れ づ 則 違 反 区

三 災 害 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 事 故 に ょ ŋ セ ン タ ]  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 利 用 が で き な < な 0 た と き

兀 工 事 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 都 合 に ょ ŋ ` 区 長 が 特 に 必 要 لح 認 8 る لح き

原 状 口 復  $\mathcal{O}$ 義 務

第 + 兀 条 利 用 者 は セ ン タ  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 利 用 を 終 了 L た と き は 直 5 に 当 該 施 設 を 原 状 に 口 復

L な け れ ば な 5 な 1 0

2 前 条  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ り 利 用 0 承 認 を 取 ŋ 消 さ n 又 は 利 用 を 停 止 さ れ た と き ŧ 同 様 لح す る

損 害 賠 償  $\mathcal{O}$ 義 務

第 + 償 L 五 な 条 け n 利 ば 用 な 者 5 は な 1 セ 0 ン た タ だ L  $\mathcal{O}$ 施 区 設 長 に が 損 Þ 害 む を を 与 得 え な た 11 لح き 理 由 は が あ 区 る 長 لح が 認 相 当  $\otimes$ る لح と 認 き  $\Diamond$ は る 損 そ 害  $\mathcal{O}$ 額 額 を を 賠

減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第 + 六 条 X 長 は 地 方 自 治 法 昭 和 <u>-</u> + \_ 年 法 律 第 六 + 七 号 以 下 法 \_ と 1 う 第 \_ 百

兀 十 兀 条  $\mathcal{O}$ 第  $\equiv$ 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ り 法 人 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 寸 体 で あ 0 て 区 長 が 指 定 す る Ł  $\mathcal{O}$ 以 下

指 定 管 理 者 と 11 う 0  $\overline{\phantom{a}}$ に セ ン タ  $\mathcal{O}$ 管 理 運 営 に 関 す る 業 務 0 う ち 次 に 掲 げ る Ł  $\mathcal{O}$ を

行

わせることができる。

第 三 条 各 号 に 掲 げ る 事 業 に 関 す る 業 務 利 用  $\mathcal{O}$ 承 認 に 係 る

施 設 付 属 設 備 及 び 物 品  $\mathcal{O}$ 保 全 軽 易 な 修 繕 及 び 整 備 を 含 む 0 以 下 同 ľ 0 に 関 す る 業

ŧ

0)

を

除

<

務

三 施 設 内  $\mathcal{O}$ 清 潔  $\mathcal{O}$ 保 持 整 頓 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 環 境 整 備 に 関 す る 業 務

指定管理者の指定)

第 + 七 条 指 定 管 理 者 と L て  $\mathcal{O}$ 指 定 を 受 け ょ う と す る 者 は X 規 則 で 定  $\otimes$ る と ک ろ に ょ り 区

長に申請しなければならない。

2 区 長 は 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 申 請 が あ 0 た と き は 次 に 掲 げ る 基 準 に ょ ŋ 最 Ł 適 切 に セ ン タ

]  $\mathcal{O}$ 管 理 運 営 を 行 う ۲ لح が で き る لح 認 8 る 者 を 指 定 管 理 者 に 指 定 す る t  $\mathcal{O}$ لح す る

前 条 各 号 に 掲 げ る 業 務 に 0 11 て 相 当  $\mathcal{O}$ 知 識 及 び 経 験 を 有 す る 者 を 当 該 業 務 に 従 事 さ せ る

ことができること。

一 安定的な経営基盤を有していること。

三 セ ン タ  $\mathcal{O}$ 効 用 を 最 大 限 に 発 揮 す る と لح ŧ に 効 率 的 な 管 理 運 営 が で き る

兀 関 係 法 令 及  $\mathcal{U}$ 条 例  $\mathcal{O}$ 規 定 を 遵 守 L 適 正 な 管 理 運 営 が で き る ۲ ح °

五. 前 各 号 に 掲 げ る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カコ 区 規 則 で 定  $\otimes$ る 基 潍

区 長 は 前 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に ょ る 指 定 を す る と き は 効 率 的 か 0 効 果 的 な 管 理 運 営 を 考 慮 L 指

定の期間を定めるものとする。

3

(指定することができない法人等)

第 + 八 条 区 長 は  $\overline{X}$ 議 숲 議 員 区 長 副 区 長 教 育 長 並 び に 法 第 百 八 + 条  $\mathcal{O}$ 五. 第 項 に 規 定

す る 委 員 会  $\mathcal{O}$ 委 員 及 び 委 員 が 無 限 責 任 社 員 取 締 役 執 行 役 若 L < は 監 査 役 若 L < は  $\sum_{}$ n

に 準 ず べ き 者 支 配 人 又 は 清 算 人  $\overline{\phantom{a}}$ 以 下 役 員 等 \_ と 11 う لح な 0 7 11 る 法 人 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 

5

寸 体  $\overline{X}$ が 資 本 金 基 本 金 そ  $\mathcal{O}$ 他 ۲ れ 5 に 準 ず る ŧ  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 分  $\mathcal{O}$ 以 上 を 出 資 L て 11 る 法 人 そ

 $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 寸 体 で あ 0 て 区 議 会 議 員 以 外  $\mathcal{O}$ 者 が 役 員 等 لح な 0 て 1 る t  $\mathcal{O}$ を 除 < を 指 定 管 理

者に指定することができない。

(指定管理者の指定の取消し等)

第 + 九 条 区 長 は 指 定 管 理 者 が 次  $\mathcal{O}$ 各 号  $\mathcal{O}$ 11 ず n か に 該 当 す る と き は 第 十 七 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規

定 に ょ る 指 定 を 取 り 消 L 又 は 期 間 を 定  $\Diamond$ 7 管 理 運 営  $\mathcal{O}$ 業 務  $\mathcal{O}$ 全 部 若 L < は 部  $\mathcal{O}$ 停 止 を 命

ずることができる。

- 管 理 運 営 0 業 務 又 は 経 理  $\mathcal{O}$ 状 況 に 関 す る 区 長  $\mathcal{O}$ 指 示 に 従 わ な 1 لح き
- \_ 第 + 七 条 第 \_ 項 各 뭉 に 掲 げ る 基 準 を 満 た さ な < な 0 た لح 認  $\Diamond$ る لح き
- 三 第 + 条 第 項 各 号 に 掲 げ る 管 理 運 営  $\mathcal{O}$ 基 準 を 遵 守 L な 11 لح き
- 兀 前  $\equiv$ 号 に 掲 げ る £  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カン 当 該 指 定 管 理 者 に ょ る 管 理 運 営 を 継 続 す る ک لح が 適 当 で

な

いと認めるとき。

(指定管理者の公表)

第 + 条 区 長 は 指 定 管 理 者  $\mathcal{O}$ 指 定 を L 若 L < は 指 定 を 取 ŋ 消 L た と き 又 は 期 間 を 定

8

て 管 理 運 営  $\mathcal{O}$ 業 務  $\mathcal{O}$ 全 部 若 L < は 部  $\mathcal{O}$ 停 止 を 命 じ た と き は 遅 滞 な < そ  $\mathcal{O}$ 旨 を 告 示 す る 4

のとする。

管理運営の基準等)

第 + 条 指 定 管 理 者 は 次 に 掲 げ る 基 準 に ょ ŋ セ ン タ  $\mathcal{O}$ 管 理 運 営 に 関 す る 業 務 を 行 わ

なければならない。

関 係 法 令 及 び 条 例  $\mathcal{O}$ 規 定 を 遵 守 L 適 正 な 管 理 運 営 を 行 う と

セ ン タ を 利 用 す る Ł  $\mathcal{O}$ に 対 L て 適 切 な サ ピ ス  $\mathcal{O}$ 提 供 を 行 うこ

 $\equiv$ 施 設 付 属 設 備 及 び 物 品  $\mathcal{O}$ 保 全 を 適 切 に 行 う ے と

兀 業 務 に 関 連 L 7 取 得 L た 個 人 に 関 す る 情 報 を 適 切 に 取 ŋ 扱 う ک ک °

区 長 は 次 12 掲 げ る 事 項 12 0 1 て 指 定 管 理 者 لح 協 定 を 締 結 す る ŧ  $\mathcal{O}$ と す る

2

前 項 各 号 に 掲 げ る 基 準 に 関 し 必 要 な 事 項

二 業務の実施に関する事項

兀 三 業 前 三 務 号  $\mathcal{O}$ に 実 掲 績 げ 報 る 告 ŧ に  $\mathcal{O}$ 関 す  $\mathcal{O}$ る ほ 事 か 項 セ ン タ 1 0) 管 理 運 営 に 関 L 必 要

な

事

項

(委任)

+ = 条 ک  $\mathcal{O}$ 条 例  $\mathcal{O}$ 施 行 に 0 71 て 必 要 な 事 項 は、 区 規 則 で 定 め る。

付則

ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は 区 規 則 で 定  $\otimes$ る 日 か 5 施 行 す る。 た だ し、 第 + 七 条 か 5 第 + 条 ま で 及 び 第

十 二 条 0) 規 定 は 公 布  $\mathcal{O}$ 日 か 5 施 行 す る。

(説 明)

が  $\lambda$ 在 宅 緩 和 ケ ア 支 援 セ ン タ 1 を 設 置 す る た め、 本 案 を 提 出 1 た L ま す。

号

港 区 V لح ŋ 親 家 庭 等  $\mathcal{O}$ 医 療 費  $\mathcal{O}$ 助 成 に 関 す る 条 例 及 び 港 区 子 تلح ŧ 医 療 費 助 成 条

例

の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

提出者 港区長 武 井 雅 昭

区  $\mathcal{O}$ と ŋ 親 家 庭 等  $\mathcal{O}$ 医 療 費  $\mathcal{O}$ 助 成 に 関 す る 条 例 及 び 港 区 子 لخ ŧ 医 療 費 助 成 条

例

の一部を改正する条例

港

港 区 V と り 親 家 庭 等  $\mathcal{O}$ 医 療 費  $\mathcal{O}$ 助 成 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 改 正

第 条 港 区  $\mathcal{O}$ لح ŋ 親 家 庭 等  $\mathcal{O}$ 医 療 費  $\mathcal{O}$ 助 成 12 関 す る 条 例 平 成 元 年 港 区 条 例 第 三 + 六

号

0)

一部を次のように改正する。

第 条 第 三 項 中 第 六 条  $\mathcal{O}$ 兀 第 項 \_ を 第 六 条 0) 兀 \_ に 改  $\Diamond$ る

港 区 子 F'n ŧ 医 療 費 助 成 条 例  $\mathcal{O}$ 部 改 正

第 条 港 区 子 تلح ŧ 医 療 費 助 成 条 例 平 成 匹 年 港 区 条 例 第 兀 + 三 号 0 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改

正

する。

第 三 条 第二 項 第 三 号 中  $\neg$ 第 六 条  $\mathcal{O}$ 兀 第 \_\_ 項 を 第 六 条  $\mathcal{O}$ 兀 \_ に 改  $\otimes$ る。

付則

 $^{\succ}$  $\mathcal{O}$ 条 例 は ` 平 成 \_ +九 年 兀 月 <del>\_</del> 日 カゝ 5 施 行 す

る。

(説 明)

児 童 福 祉 法 等  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 法 律 平 成 +八 年 法 律 第 六 + 三 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 施 行 に ょ る 児 童 福 祉

案を提出いたします。

法

昭

和

+

年

法

律

第

百

六

+

兀

号

 $\mathcal{O}$ 

部

改

正

に

伴

11

`

規

定

を

整

備す

る

必

要

が

あ

る

た

 $\otimes$ 

本

港区心身障害者福祉手当条例の

部

を

改

正

す

る

条

例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

出者 港区長 武 井 雅 昭

提

港 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例 昭 和 兀 + 八 年 港 区 条 例 第 + 五. 뭉  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す

る。

第

 $\equiv$ 

条

中

規則

\_

を

区

規

則

に

改

 $\otimes$ 

る

第

九

条

各

号

列

記

以

外

 $\mathcal{O}$ 

部

分

中

す

4

Þ

か

に

を

速

B

か

に

に

改め

同

条第

号

中

規則

を「区規則」に改める。

第十二条中「規則」を「区規則」に改める。

別 表 第 特 殊 疾 病 者  $\mathcal{O}$ 項 を 次 0) ょ う に 改  $\otimes$ る

特殊疾病者

区規則で定める疾病を有する者

1 ک  $\mathcal{O}$ 条 例 は 平 成 + 九 年 几 月 日 か 5 施 行 す る

2  $\mathcal{O}$ 条 例  $\mathcal{O}$ 施 行  $\mathcal{O}$ 際 現 に ک  $\mathcal{O}$ 条 例 に ょ る 改 正 前  $\mathcal{O}$ 港 区 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 条 例 別 表 第 特

殊 疾 病 者  $\mathcal{O}$ 項 に 規 定 す る 疾 病 に 該 当 し て 心 身 障 害 者 福 祉 手 当 以 下  $\neg$ 手 当 と 11 う 0  $\bigcirc$ 

ょ ŋ 手 当  $\mathcal{O}$ 受 給  $\mathcal{O}$ 対 象 と な 0 て 11 る 者 لح 4 な す

(説明)

給

 $\mathcal{O}$ 

対

象

と

な

0

て

1

る

者

は

ک

 $\mathcal{O}$ 

条

例

に

ょ

る

改

正

後

 $\mathcal{O}$ 

港

区

心

身

障

害

者

福

祉

手当

条

例

 $\mathcal{O}$ 

規

定

に

受

心 身 障 害 者 福 祉 手 当  $\mathcal{O}$ 支 給 対 象 لح す る 特 殊 疾 病 者  $\mathcal{O}$ 規 定 方 法 を 改  $\otimes$ る た め、 本 案 を 提 出 1 た

します。

港 区 介 護 保 険 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 十 九 年 \_ 月 + 五 日

出 者 港 区 長 武 井 雅 昭

提

港 区 介 護 保 険 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 介 護 保 険 条 例 平 成 十 \_ 年 港 区 条 例 第 + 九 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部 を

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

改

正

す

る

十 六 条 第 項 中  $\neg$ 納 期 限 前 七 日 \_ を 納 期 限 \_ に 改  $\otimes$ る。

付 則 に 次  $\mathcal{O}$ 条 を 加 え る

第

平 成 + 九 年 度 に お け る 保 険 料 率  $\mathcal{O}$ 特 例

第 九 条 平 成 + 九 年 度 に お け る 保 険 料 率 は 第 七 条 第 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に か か わ 5 ず 次  $\mathcal{O}$ 各 뭉 に

掲 げ る 第 号 被 保 険 者  $\mathcal{O}$ 区 分 に 応 じ そ れ ぞ れ 当 該 各 号 に 定  $\otimes$ る 額 لح す る

令 令 附 附 則 則 第 第 \_ + + 条 条 第 第 項 項 第 第 号 号 に に 掲 掲 げ げ る る 者 者  $\equiv$ 兀 万 万 三 千 千 七 百 + 百 七 \_ + 円 三 円

 $\equiv$ 令 附 則 第 + 条 第 項 第 三 뭉 に 掲 げ る 者 兀 万 八 千 七 百 + 円

几 令

五

令

附

次

 $\mathcal{O}$ 

11

ず

六

イ

合

計

所

得

金

額

租

税

特

別

措

置

法

第

三

+

三

条

 $\mathcal{O}$ 

兀

第

\_

項

若

L

<

は

第

項

第

三

十 兀

条

第

七

次

 $\mathcal{O}$ 

い

ず

れ

か

に

該

当

す

る

者

八

万

千

兀

百

三

+

兀

円

号

口

第

+

三

号

口

又

は

第

+

兀

号

口

に

該

当

す

る

者

を

除

<

0

に

係

る

部

分

を

除

<

次

号

口

第

八

뭉

口

第

九

号

口

第

+

号

口

第

+

뭉

口

第

+

さ

n

た

な

5

ば

保

護

を

必

要

لح

L

な

11

状

態

لح

な

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

令

附

則

第

+

条

第

\_\_

項

第

号

1

(1)

口

要

保

護

者

で

あ

9

て

そ

 $\mathcal{O}$ 

者

が

課

さ

れ

る

保

険

料

額

に

0

11

て

ک

 $\mathcal{O}$ 

号

 $\mathcal{O}$ 

区

分

に

ょ

る

額

を

適

用

五.

万

円

未

満

で

あ

ŋ

か

0

前

各

号

 $\mathcal{O}$ 

1

ず

れ

に

ŧ

該

当

L

な

1

者

第

+

九

条

第

項

に

規

定

す

る

特

別

控

除

額

を

控

除

L

7

得

た

額

لح

す

る

以

下

同

U

 $\overline{\phantom{a}}$ 

が

百

\_

+

0

 $\mathcal{O}$ 

第

項

又

は

第

三

十

六

条

 $\mathcal{O}$ 

規

定

 $\mathcal{O}$ 

適

用

が

あ

る

場

合

12

は

当

該

合

計

所

得

金

額

カン

5

令

附

則

項

第

三

+

兀

条

 $\mathcal{O}$ 

第

\_\_

項

第

三

十

兀

条

 $\mathcal{O}$ 

三

第

項

第

三

+

五.

条

第

<del>---</del>

項

第

三

+

五

条

イ

合

計

所

得

金

額

が

百

+

五.

万

円

以

上

百

九

十

万

円

未

満

で

あ

ŋ

か

0

前

各

号

 $\mathcal{O}$ 

11

ず

n

に

\$

該

当

L

な

11

者

口

要

保

護

者

で

あ

9

7

そ

 $\mathcal{O}$ 

者

が

課

さ

れ

る

保

険

料

額

に

0

11

7

 $\subseteq$ 

 $\mathcal{O}$ 

号

 $\mathcal{O}$ 

区

分

に

ょ

る

額

を

適

用

さ

れ

た

な

5

ば

保

護

を

必

要

لح

L

な

1

状

態

と

な

る

ŧ

 $\mathcal{O}$ 

令

附

則

第

+

条

第

項

第

号

1

(1)

れ

12 該

る

者

七

万

八

千

六

百

八

+

七

円

則

第

当

か

第

す

則

附

条 第

五

号

に

掲

げ

る

者

七

万

兀

千

九

百

兀

+

円

十

第 項

第 項 第

条

兀

号

に

掲

げ

る

者

五

万

九

千

九

百

五

+

円

+

に 係 る 部 分 を 除 < 次 号 口 第 九 号 口 第 + 号 口 第 + 号 口 第 + 뭉 口 第 +

三 뭉 口 又 は 第 + 兀 号 口 に 該 当 す る 者 を 除 <

次  $\mathcal{O}$ 11 ず れ か に 該 当 す る 者 八 万 九 千 九 百 + 八 円

八

イ 合 計 所 得 金 額 が 百 九 + 万 円 以 上 <u>-</u> 百 五. + 万 円 未 満 で あ ŋ か 0 前 各 뭉  $\mathcal{O}$ 1 ず れ に ŧ

該当しない者

口 要 保 護 者 で あ 0 て そ  $\mathcal{O}$ 者 が 課 さ れ る 保 険 料 額 に 0 1 7  $\subseteq$  $\mathcal{O}$ 号  $\mathcal{O}$ 区 分 に ょ る 額 を 適

さ れ た な 5 ば 保 護 を 必 要 لح L な 11 状 態 لح な る ŧ  $\mathcal{O}$ 令 附 則 第 + 条 第 項 第 号 1

に 係 る 部 分 を 除 < 0 次 号 口 第 十 号 口 第 + 号 口 ` 第 + 号 口 ` 第 + 三 뭉 口 又

は

(1)

用

第十四号口に該当する者を除く。)

次  $\mathcal{O}$ 11 ず n か に 該 当 す る 者 十 万 兀 千 九 百 + 六 円

九

1 合 計 所 得 金 額 が 百 五. + 万 円 以 上  $\equiv$ 百 五. + 万 円 未 満 で あ ŋ カゝ 0 前 各 号

 $\mathcal{O}$ 

11

ず

れ

に

も該当しない者

口 要 保 護 者 で あ 0 7 そ  $\mathcal{O}$ 者 が 課 さ れ る 保 険 料 額 に 0 11 て \_  $\mathcal{O}$ 뭉  $\bigcirc$ 区 分 に ょ る 額 を 適 用

さ れ た な 5 ば 保 護 を 必 要 لح L な 11 状 態 لح な る Ł  $\mathcal{O}$ 令 附 則 第 + 条 第 項 第 号 1 (1)

に 係 る 部 分 を 除 <  $\overline{\phantom{a}}$ 次 号 口 第 + 号 口 第 + \_ 号 口 第 + 三 号 口 又 は 第 + 兀 号 口

に該当する者を除く。)

+ 次  $\mathcal{O}$ 11 ず れ カゝ に 該 当 す る 者 + 万 九 千 九 百 兀

円

イ 合 計 所 得 金 額 が 三 百 五. + 万 円 以 上 五 百 万 円 未 満 で あ ŋ カン 0 前 各 号  $\mathcal{O}$ 11 ず れ に Ł 該

当しない者

口 に さ 係 れ 要 た 保 る 部 な 護 分 5 者 を ば で 除 保 あ < 護 0 を 7 必 要 そ لح 次  $\mathcal{O}$ 号 L 者 口 な が 11 課 第 状 さ 十 態 れ لح る 保 号 な る 険 口 ŧ 料 第  $\mathcal{O}$ 額 + に 三 令 0 号 附 1 て 則 口 ک 第 又 は  $\mathcal{O}$ + 号 第 十 条  $\mathcal{O}$ 兀 区 第 号 分 口 項 に に 第 ょ 該 る 当 号 額 す を 1 る 適 者 (1)用

を除く。)

+ イ 合 次 計  $\mathcal{O}$ 所 1 得 ず 金 れ か 額 が に 五 該 当 百 万 す 円 る 以 者 上 七 + 百 兀 五. 万 + 千 万 三 円 未 百 満 八 + で あ 六 ŋ 円 か 0 前 各 号  $\mathcal{O}$ 11 ず

れ

に

Ł

該

口 当 要 L 保 な 護 11 者 者 で あ 0 て そ  $\mathcal{O}$ 者 が 課 さ れ る 保 険 料 額 に 0 1 て ک  $\mathcal{O}$ 号  $\bigcirc$ 区 分 に ょ る 額 を 適 用

に さ 係 れ る た 部 な 分 5 を ば 除 保 < 護 0 を 必 要 と 次 号 L 口 な 11 第 状 十 態 三 لح 号 な る 口 又 ŧ は  $\mathcal{O}$ 第 令 + 兀 附 号 則 第 口 12 該 + 当 条 す 第 る 者 項 を 第 除 号 < 1 (1)

十

次

 $\mathcal{O}$ 

11

ず

n

カュ

に

該

当

す

る

者

+

七

万

\_

千

三

百

六

+

<u>-</u>

円

L

な

11

者

イ 合 計 所 得 金 額 が 七 百 五. + 万 円 以 上 千 万 円 未 満 で あ ŋ カン 0 前 各 号  $\mathcal{O}$ 11 ず れ に Ł 該 当

口 さ れ 要 た 保 な 護 5 者 ば で 保 あ 護 9 を 7 必 要 そ لح  $\mathcal{O}$ L 者 な が 課 11 状 さ 態 れ と る 保 な る 険 ŧ 料  $\mathcal{O}$ 額 に 令 0 附 11 則 て  $\subseteq$ 第  $\mathcal{O}$ + 号 条  $\mathcal{O}$ 第 区 分 項 に 第 ょ る 号 額 1 を 適 (1)用

に 係 る 部 分 を 除 < 次 号 口 又 は 第 + 兀 号 口 に 該 当 す る 者 を 除 <

十 三 次  $\mathcal{O}$ 11 ず n カュ に 該 当 す る 者 \_ + 万 六 千 八 + 五 円

イ 合 計 所 得 金 額 が 千 万 円 以 上 千 万 円 未 満 で あ ŋ か 0 前 各 号  $\mathcal{O}$ 1 ず れ に ŧ 該 当

L

な

い 者

さ

れ

た

な

5

ば

保

護

を

必

要

لح

L

な

11

状

態

لح

な

る

Ł

 $\mathcal{O}$ 

令

附

則

第

+

条

第

項

第

号

1

(1)

口 要 保 護 者 で あ 0 7 そ  $\mathcal{O}$ 者 が 課 さ れ る 保 険 料 額 に 0 1 て ک  $\mathcal{O}$ 号  $\bigcirc$ 区 分 に ょ る 額 を 適 用

に 係 る 部 分 を 除 < 0  $\overline{\phantom{a}}$ 又 は 次 号 口 に 該 当 す る 者 を 除 <

+ 兀 次  $\mathcal{O}$ 11 ず n カュ に 該 当 す る 者 \_ + 三 万 九 千 八 百 八 Щ

イ 合 計 所 得 金 額 が 千 万 円 以 上 三 千 万 円 未 満 で あ ŋ カゝ 0 前 各 号  $\mathcal{O}$ 11 ず れ に Ł 該 当

L

ない者

口 要 保 護 者 で あ 0 7 そ  $\mathcal{O}$ 者 が 課 さ れ る 保 険 料 額 に 0 1 7 ک  $\mathcal{O}$ 号  $\mathcal{O}$ 区 分 に ょ る 額 を 適 用

さ れ た な 5 ば 保 護 を 必 要 کے L な 11 状 態 لح な る ŧ  $\mathcal{O}$ 令 附 則 第 + 条 第 項 第 号 1 (1)

に 係 る 部 分 を 除 < 0 に 該 当 す る 者 を 除 <

十 五 前 各 뭉  $\mathcal{O}$ 1 ず n に £ 該 当 L な 11 者 + 七 万 三 千 五 百 三 + 円

前 項 第 \_\_ 号 に 掲 げ る 第 号 被 保 険 者 に 0 1 て  $\mathcal{O}$ 保 険 料  $\mathcal{O}$ 減 額 賦 課 に 係 る 平 成 + 九 年

度

に

お け る 保 険 料 率 は 同 号  $\mathcal{O}$ 規 定 に カコ か わ ら ず 万 九 千 九 百 七 + 六 円 لح す る

付則

2

۲  $\mathcal{O}$ 条 例 は 平 成 \_ + 九 年 兀 月 \_ 日 カゝ 5 施 行 す る。 た だ L 第 + 六 条 第 項  $\mathcal{O}$ 改 正 規 定 は

公布の日から施行する。

(説 明)

す

険 に お 法 介 け 施 護 る 行 保 基 令 険 準 法 施 平  $\mathcal{O}$ 行 特 成 例 + 令 を 年  $\mathcal{O}$ 定 政  $\Diamond$ 令 部 る 第 を ほ 兀 改 か 百 正 す 十 る 保 号 険 政 料 令  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 減 平 部 成 免 改 申 +正 請 を 期 八 限 踏 年 を ま 政 え 令 改  $\otimes$ 第 る  $\equiv$ 保 た 険 百  $\Diamond$ 料 号  $\mathcal{O}$ 所 本  $\mathcal{O}$ 案 得 施 段 行 を 提 階 に 出 ょ 区 11 分 る た  $\mathcal{O}$ 介 L 判 護 定 保 ま

港 区 <u>\</u> 学 校 施 設 等 使 用 条 例 等  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

提出者 港区長 武 井 雅 昭

港 区 立 学 校 施 設 等 使 用 条 例 等  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条 例

港 区 立. 学 校 施 設 等 使 用 条 例  $\mathcal{O}$ 部 改 正

第 条 港 区 <u>\f</u> 学 校 施 設 等 使 用 条 例 平 成 年 港 区 条 例 第 七 号  $\overline{\phantom{a}}$  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る。

表  $(\underline{\phantom{a}})$  $\mathcal{O}$ 部 中 小 学 生 • 中 学 生 \_ を 小 学 生 • 中 学 生 • 高 校 生 \_ に 改  $\otimes$ る

別

港 区 <u>\f</u> 箱 根 = コ = コ 高 原 学 袁 条 例  $\mathcal{O}$ 部 改 正

第 条 港 区 <u>\\</u> 箱 根 = コ = コ 高 原 学 袁 条 例 昭 和  $\equiv$ + 九 年 港 区 条 例 第 三 + 兀 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次 0

ように改正する。

別 表 中 小 学 生 • 中 学 生 を 小 学 生 • 中 学 生 • 高 校 生 に 改 8 る

(港区立運動場条例の一部改正)

第 三 条 港 区 <u>\f</u> 運 動 場 条 例  $\overline{\phantom{a}}$ 昭 和 兀 + 六 年 港 X 条 例 第 三 + 兀 号  $\mathcal{O}$ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に 改 正 す る。

表 第 中 小 学 生 • 中 学 生 人 口

別

時 間 以 内 人 口 時 間

港  $\otimes$ 区 ス 同 ポ 表 備 ] ツ 考 セ ン 中 タ ] 小 条 学 生 例 •  $\mathcal{O}$ 中 学 部 生 改 正 を  $\neg$ 小 学 生 • 中 学 生 • 高 校 生 \_\_ に 改 め る。

第 兀 条 港 区 ス ポ ツ セ ン タ ] 条 例  $\overline{\phantom{a}}$ 昭 和 几 + 九 年 港 区 条 例 第 三 +九 号)  $\mathcal{O}$ \_\_ 部 を 次  $\mathcal{O}$ ょ う に

付 則 改

正

す

る

別

表

個

人

利

用

 $\mathcal{O}$ 

場

合

 $\mathcal{O}$ 

部

中

小

学

生

•

中

学

生

を

小

学

生

•

中

学

生

高

校

生

に

改

め

る。

ح  $\mathcal{O}$ 条 例 は 平 成 \_ + 九 年 兀 月 日 か 5 施 行 す る。

説 明

す。

学 校 施 設 等  $\bigcirc$ 個 人 利 用  $\mathcal{O}$ 使 用 料 に 0 ١, て、 高 校 生 0) X 分 を 定 め る た め、 本 案 を 提 出 7) た し ま

を

小

学 生

中 学 生 • 以 内 高 校 生

> に 改

港 区 幼 稚 袁 教 育 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 ` 休 暇 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条

例

右の議案を提出する。

平成二十九年二月十五日

提出者 港区長 武 井 雅 昭

幼 稚 袁 教 育 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 条 例  $\mathcal{O}$ 部 を 改 正 す る 条

例

港

区

港 区 幼 稚 袁 教 育 職 員  $\mathcal{O}$ 勤 務 時 間 休 日 休 暇 等 に 関 す る 条 例 平 成 + \_ 年 港 区 条 例 第  $\equiv$ + 五

号)の一部を次のように改正する。

百 る  $\mathcal{O}$ 百 六 場 成 + 第 + + 立 合 七 兀 に 条 \_ 号 限 条  $\mathcal{O}$ 0 第 る 1 第二 第 て 家 項 + で 庭 項 及 七 裁 び あ  $\mathcal{O}$ 第 条 判 規 0 \_ 第 7 所 定 に に 項 項 当 請 ょ 中 第 求 り 該 三 職  $\mathcal{O}$ 職 L 子 号 員 た 員 者 \_  $\mathcal{O}$ が が 当 規 現  $\mathcal{O}$ 当 定 該 下 に に 監 該 職 に ょ 護 請 員 と ŋ す 求  $\overline{\phantom{a}}$ 民 同 る に  $\mathcal{O}$ 法 t 係 間 法 第  $\mathcal{O}$ る に  $\overline{\phantom{a}}$ 六 家 明 お 条 児 事 け 治  $\mathcal{O}$ 審 \_ 童 る + 兀 福 判 同 第 祉 事 項 九 法 件 に 年 号 が 規 法 に 昭 裁 定 律 規 第 和 判 す 定 所 る 八 +す + に 特 る 係 別 九 養 年 属 号 養  $\overline{\phantom{a}}$ 子 子 法 L 縁 律 て 縁 第 組 第 1 組 八

者 里 を 親 含 で む あ 0 る 職 以 下 員 ک 12 委  $\mathcal{O}$ 託 項 並 さ U n に 7 次 1 る 条 第 児 童 項 そ 及  $\mathcal{O}$ び 他 第 三 れ 項 5 並 12 75 潍 に ず 第 る 十 者 لح <del>---</del> し 条  $\mathcal{O}$ 7 三 教 育 第 <del>---</del> 委 項 員 及 会 規 び 第 則 三 で 定 項 に 8 お る

項 \_\_ 第 を + 条 前  $\mathcal{O}$ 項 \_  $\mathcal{O}$ に 見 改 出 L  $\emptyset$ 中 育 育 児 児 \_  $\sqsubseteq$  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 下 下 に に  $\neg$  $\neg$ 又 又 は は 要 要 介 介 護 護 者 者  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 介 介 護 護 \_  $\sqsubseteq$ を を 加 加 え え 同 同 項 条 第 を 同 条 項 中 第 三 項 前

لح

L

同

条

第

項

 $\mathcal{O}$ 

次

に

次

 $\mathcal{O}$ 

項

を

加

え

る

11

て

同

ľ

0

 $\overline{\phantom{a}}$ 

を

加

え

る

2  $\equiv$ 介 護 歳 前 者 に 項 を 満  $\mathcal{O}$ 介 た 規 護 な 定 11 は 子 لح 読 要  $\mathcal{O}$ 4 あ 介 替 る 護 え 職 者 る 員 を が 介 ŧ 当  $\mathcal{O}$ 護 لح 該 す 子 す る る を 職 養 員 育 に 0 لح 11 あ 7 る 潍 用  $\mathcal{O}$ す は る 0 要 介  $\mathcal{O}$ 護 場 者 合 に  $\mathcal{O}$ あ お る 1 職 て 員 が 同 当 項 該 中 要

同 で 条 第 負 傷 +  $\mathcal{O}$ 次 八 に 条 疾 次 第 病  $\mathcal{O}$ 又 \_\_ \_ は 項 老 条 中 を 齢 \_ 加 に そ え ょ  $\mathcal{O}$ ŋ 配 る 日 偶 常 者 ` 生 活 父 を 母 営 子 む لح 配 に 偶 支 者 障  $\mathcal{O}$ が 父 あ 母 る そ t  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 他 教 を 育 委  $\neg$ 要 員 介 会 護 規 者 則 \_ で 定 に 改  $\Diamond$  $\Diamond$ る 者

# 介護時間)

第 + 次 る لح 項 八 認 に 条 お  $\Diamond$  $\mathcal{O}$ 5 11 7 n る 教 介 場 育 護 合 委 時 に 員 間 お 会  $\sqsubseteq$ け は لح る 休 11 職 う 暇 員 لح が L 要 を 7 介 護 承 認 者 す  $\mathcal{O}$ 日 る  $\mathcal{O}$ 介 ŧ 勤 護 務  $\mathcal{O}$ を لح 時 す す 間 る る た  $\mathcal{O}$ \_\_ 8 部 に 勤 0 務 11 L 7 な 勤 11 務 لح L な が 11 相 当 لح で あ

2 介 護 時 間 に 関 L そ  $\mathcal{O}$ 期 間 そ  $\mathcal{O}$ 他  $\mathcal{O}$ 必 要 な 事 項 は 人 事 委 員 会  $\mathcal{O}$ 承 認 を 得 て 教 育 委 員 会 規

則で定める

付則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行

す

る

2 経  $\mathcal{L}$ 過  $\mathcal{O}$ 措 置 条 例  $\mathcal{O}$ 施 行  $\mathcal{O}$ 日 か 5 平 成 + 九 年 三 月 三 + 日 ま で  $\mathcal{O}$ 間 は  $\mathcal{O}$ 条 例

港

区

幼

稚

袁

教

育

職

員

 $\mathcal{O}$ 

勤

務

時

間

休

日

休

暇

等

に

関

す

る

条

例

第

+

条

第

\_\_

項

及

び

第

項

中

に

ょ

る改

正

後

 $\mathcal{O}$ 

第 六 第 六 条 条  $\mathcal{O}$ 兀  $\mathcal{O}$ 第 几 第 号 に 項 に 規 規 定 定 す す る 養 る 里 子 親 縁 で 組 里 あ る 親 職 で 員 あ に る 委 職 託 員 さ に 委 れ て 託 1 さ る n 児 7 童 1  $\mathcal{O}$ る う 児 5 童 \_ 当 کے 該 あ 職 る 員  $\mathcal{O}$ が は

子 縁 組 に ょ 0 7 養 親 لح な る  $\sum_{}$ کے を 希 望 L 7 1 る 者 \_ لح す る

3 前 項 に 規 定 す る t  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ ほ カゝ  $\sum_{}$  $\mathcal{O}$ 条 例  $\mathcal{O}$ 施 行 に 伴 V 必 要 な 経 過 措 置 は 港 区 教 育 委 員 会

規

養

則で定める。

(説明)

+ 育 働 六 児 者 地 뭉 方 休  $\mathcal{O}$ 業 福 公 務  $\mathcal{O}$ 祉 介 に 員 関 部 護  $\mathcal{O}$ 改 休 す 育 正 業 る 児 に 等 休 法 伴 育 律 業 1 児  $\mathcal{O}$ 等 又 \_ に 要 は 部 関 介 家 す を 護 族 改 る 者 介 正 法 を 護 す 律 介 を る 及 護 び 行 法 す う 律 育 労 児 る 平 幼 働 休 稚 者 成 業 袁  $\mathcal{O}$ + 介 教 福 育 八 護 祉 職 に 年 休 関 業 員 法 す 等  $\mathcal{O}$ 律 介 る 第 育 護 法 九 児 時 律 + 又 間 五. は 平 号  $\mathcal{O}$ 家  $\overline{\phantom{a}}$ 新 成 族 設  $\equiv$ 介  $\mathcal{O}$ 及 年 施 護 び 法 行 を 超 律 に 行 過 第 ょ う 勤 七 る 労

務

 $\mathcal{O}$ 

制

限

に

0

1

て

定

 $\Diamond$ 

る

た

 $\otimes$ 

本

案

を

提

出

1

た

L

ま

す

### 議案第17号

#### 平成28年度

港区一般会計補正予算 (第7号)

#### 平成28年度港区一般会計補正予算(第7号)

平成28年度港区の一般会計の補正予算(第7号)は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算の補正)

- 第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 9,541,881 千円を追加し、歳入歳出予 算の総額を歳入歳出それぞれ 132,574,868 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の 金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費の補正)

第2条 既定の繰越明許費の追加は、「第2表繰越明許費補正」による。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

#### 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳 入

(単位:千円) 款 項 補正前の額 補正額 計 1 特別区税 69, 476, 625 6,088,948 75, 565, 573 1 特別区民税 63, 546, 678 5, 617, 403 69, 164, 081 特別区たばこ税 5, 858, 849 471,545 6, 330, 394 3 利子割交付金 1,000,000  $\triangle 550,000$ 450,000 1 利子割交付金 1,000,000  $\triangle 550,000$ 450,000 4 配当割交付金 660,000 360,000 1,020,000 1 配当割交付金 660,000 360,000 1,020,000 5 株式等譲渡所得割交付金 101,000 649,000 750,000 株式等譲渡所得割交付金 101,000 649,000 750,000 12 使用料及び手数料 7, 559, 837 155,051 7,714,888 1 使用料 6,829,136 155,051 6, 984, 187 13 国庫支出金 14, 223, 265  $\triangle$ 829, 120 13, 394, 145 国庫負担金 17,610 8, 177, 903 8, 195, 513 国庫補助金 6,037,696  $\triangle 846,730$ 5, 190, 966 14 都支出金 5, 799, 420  $\triangle 469,840$ 5, 329, 580 都負担金 1 2, 411, 647 16, 918 2, 428, 565 都補助金 2, 434, 398  $\triangle 448,912$ 1, 985, 486 都委託金 953, 375  $\triangle 37,846$ 915, 529 15 財産収入 553, 189 751, 777 1, 304, 966 財産運用収入 551,828  $\triangle 123, 198$ 428,630 財産売払収入 1, 361 874, 975 876, 336 寄附金 99, 289 384, 130 483, 419 寄 附 金 99, 289 384, 130 483, 419 17 繰入金 2, 370, 999  $\triangle 76,286$ 2, 294, 713 基金繰入金 2, 370, 961  $\triangle 76,286$ 2, 294, 675 18 繰越金 1, 738, 186 2, 873, 186 4,611,372 1 繰越金 1, 738, 186 2, 873, 186 4,611,372

(単位:千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
19 諸収入		2, 295, 171	205, 035	2, 500, 206
	4 受託事業収入	242, 635	△38, 726	203, 909
	5 収益事業収入	55, 517	47, 466	102, 983
	7 雑 入	1, 360, 995	196, 295	1, 557, 290
歳入	合 計	123, 032, 987	9, 541, 881	132, 574, 868

歳 出

歳 出				(単位:千円)
款	項	補正前の額	補正額	計
2 総務費		20, 493, 304	7, 279, 574	27, 772, 878
	1 総務管理費	16, 478, 556	7, 354, 280	23, 832, 836
	3 戸籍住民基本台帳費	1, 520, 585	△22, 491	1, 498, 094
	4 選 挙 費	361, 582	△28, 324	333, 258
	5 統計調查費	125, 027	△23, 891	101, 136
3 環境清掃費		5, 456, 889	△99, 894	5, 356, 995
	1 環境費	1, 100, 712	△41, 168	1, 059, 544
	2 清掃費	4, 356, 177	△58, 726	4, 297, 451
4 民生費	•	44, 063, 352	△266, 966	43, 796, 386
	1 社会福祉費	14, 751, 399	△223, 380	14, 528, 019
	2 児童福祉費	23, 983, 876	△101,659	23, 882, 217
	3 生活保護費	5, 253, 149	58, 073	5, 311, 222
5 衛 生 費		4, 884, 458	64, 741	4, 949, 199
	1 保健衛生費	4, 884, 458	64, 741	4, 949, 199
6 産業経済費		2, 362, 618	△149, 129	2, 213, 489
	1 商工費	2, 362, 618	△149, 129	2, 213, 489
7 土木費		16, 791, 061	△2, 422, 344	14, 368, 717
	1 土木管理費	2, 125, 882	△110,006	2, 015, 876
	2 道路橋りょう費	4, 304, 836	△1, 329, 058	2, 975, 778
	3 河川費	94, 416	△56, 282	38, 134
·	4 公園費	1, 199, 877	△29, 554	1, 170, 323
	5 都市計画費	5, 250, 161	△669, 978	4, 580, 183
	6 住宅費	2, 119, 034	388, 000	2, 507, 034
	7 建築費	1, 696, 855	△615, 466	1,081,389
8 教育費		18, 752, 812	△269, 701	18, 483, 111
	1 教育総務費	8, 069, 156	△12, 390	8, 056, 766
:	2 小学校費	3, 730, 302	△38, 840	3, 691, 462
	3 中学校費	2, 227, 381	△112,067	2, 115, 314
	4 校外施設費	197, 341	△30, 104	167, 237
	5 幼稚園費	966, 228	△76, 300	889, 928

(単位:千円)

	款	項	補正前の額	補正額	#
10	諸支出金		8, 000, 912	5, 405, 600	13, 406, 512
		1 財政積立金	122, 331	5, 908, 610	6, 030, 941
		2 他会計繰出金	7, 878, 581	△503, 010	7, 375, 571
	歳 出	合 計	123, 032, 987	9, 541, 881	132, 574, 868

第		2	1	表 繰越	明 許 費 補	Œ	
追	<u>†</u>	ţ	bp				
	款			項	事業名		金 額
2 総	*	务	費	3 戸籍住民基 本台帳費	通知カード・クタ付事務	個人番号カード	手円 17,809
					,		
						,	
					* 1		
						,	

#### 議案第18号

#### 平成28年度

港区国民健康保険事業会計補正予算(第2号)

### 平成28年度港区国民健康保険事業会計補正予算 (第2号)

平成28年度港区の国民健康保険事業会計の補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

#### (歳入歳出予算の補正)

- 第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 430,128 千円を追加し、歳入歳出 予算の総額を歳入歳出それぞれ 28,260,219 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の 金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成29年2月15日提出

港区長 武 井 雅 昭

## 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

	///X / \				(単位:千円)
	款	項	補正前の額	補正額	計
4	国庫支出金		5, 464, 299	83, 501	5, 547, 800
		1 国庫負担金	5, 416, 672	83, 501	5, 500, 173
7	都支出金		1, 318, 186	28, 296	1, 346, 482
		1 都負担金	219, 778	15, 557	235, 335
		2 都補助金	1, 098, 408	12, 739	1, 111, 147
8	共同事業交付金		7, 446, 925	10, 883	7, 457, 808
		1 共同事業交付金	7, 446, 925	10, 883	7, 457, 808
10	繰入金		3, 254, 698	△ 313, 297	2, 941, 401
		1 繰入金	3, 254, 698	△ 313, 297	2, 941, 401
11	繰越金		35, 000	620, 745	655, 745
		1 繰越金	35, 000	620, 745	655, 745
	歳入	合 計	27, 830, 091	430, 128	28, 260, 219

歳 出

				(単位:千円)
款	項	補正前の額	補 正 額	計
2 保険給付費		14, 571, 716	236, 188	14, 807, 904
	1 療養諸費	12, 815, 314	126, 851	12, 942, 165
	2 高額療養費	1, 506, 773	109, 337	1, 616, 110
7 共同事業拠出金		7, 548, 617	62, 227	7, 610, 844
	1 共同事業拠出金	7, 548, 617	62, 227	7, 610, 844
9 諸支出金		53, 052	131, 713	184, 765
	1 償還金及び還付金	53, 051	131, 713	184, 764
歳出	合 計	27, 830, 091	430, 128	28, 260, 219

# 議案第19号

# 平成28年度

港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)

### 平成28年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)

平成28年度港区の後期高齢者医療会計の補正予算(第1号)は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算の補正)

- 第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 169,675 千円を追加し、歳入歳出 予算の総額を歳入歳出それぞれ 5,020,384 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の 金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成29年2月15日提出

港区長 武 井 雅 昭

# 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

	成 人			I	(単位:千円)
	款	項	補正前の額	補正額	計
1	後期高齢者医療保険料		2, 816, 165	198, 207	3, 014, 372
		1 後期高齢者医療保険料	2, 816, 165	198, 207	3, 014, 372
3	繰入金	,	1, 927, 696	△ 164, 497	1, 763, 199
		1 繰入金	1, 927, 696	△ 164, 497	1, 763, 199
4	繰 越 金		1	135, 965	135, 966
		1 繰越金	1	135, 965	135, 966
	歳入	合 計	4, 850, 709	169, 675	5, 020, 384

歳出

					(単位:十円)
	款	項	補正前の額	補正額	計
1	総務費		156, 147	. 0	156, 147
		1 総務管理費	156, 147	0	156, 147
2	広域連合負担金		4, 452, 662	169, 675	4, 622, 337
		1 広域連合負担金	4, 452, 662	169, 675	4, 622, 337
	歳出	台 計	4, 850, 709	169, 675	5, 020, 384

## 議案第20号

# 平成28年度

港区介護保険会計補正予算 (第2号)

## 平成28年度港区介護保険会計補正予算(第2号)

平成28年度港区の介護保険会計の補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算の補正)

- 第1条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 25, 216 千円を減額し、歳入歳出予算の 総額を歳入歳出それぞれ 16, 363, 532 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の 金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

## 第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

774				<u>(単位:千円)</u>	
款	項	補正前の額	補正額	計	
8 繰入金		2, 696, 187	△ 25, 216	2, 670, 971	
	1 一般会計繰入金	2, 696, 187	△ 25, 216	2, 670, 971	
歳 入	合 計	16, 388, 748	△ 25, 216	16, 363, 532	

歳出

///	<b>ч</b>						(単位:千円)
	款			項	補正前の額	補 正 額	計
1 ¥	総 務 費		747, 794	△ 25, 216	722, 578		
				1 総務管理費	747, 794	△ 25, 216	722, 578
		歳	出	合 計	16, 388, 748	△ 25, 216	16, 363, 532

# 議案第21号

平成29年度港区一般会計予算

## 平成29年度港区一般会計予算

目

次

予算	総則·	• • • • •	• • •	· · ·	• • •	• • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	 • • •	 • •		• •	7 頁
第1表	歳入歳出予	·算				•••		• • •			 	 	• • •		8
1	歳	入		• • •	•••	•••	• • • ·	• • •			 	 	• • • •		8
2	歳	出				•••	• • •				 	 	•••		10
第2表	債務負担行	為					• • • •				 	 	• • • •		12

### 平成29年度港区一般会計予算

平成29年度港区の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

#### (歳入歳出予算)

- 第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 166, 150,000 千円と定める。
- 2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。 (債務負担行為)
- 第2条 地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第2表債務負担行為」による。

#### (一時借入金)

第3条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、500,000千円と定める。

#### (歳出予算の流用).

第4条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流 用することができる場合は、各項に計上した給料、職員手当等及び共済費(賃金に係る共済 費を除く。)に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項 の間とする。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

### 1 歳 入

(単位:千円)

-			(科位:十円)
	款	項	金額
1	特別区税		72, 553, 194
		1 特別区民税	66, 633, 101
		2 軽自動車税	71,948
		3 特別区たばこ税	5, 845, 180
		4 入湯税	2, 965
2	地方譲与税		425, 001
		1 自動車重量譲与税	302, 600
		2 地方揮発油譲与税	122, 400
		3 地方道路讓与税	1
3	利子割交付金		600, 000
		1 利子割交付金	600,000
4	配当割交付金		660,000
		1 配当割交付金 :	660,000
5	株式等譲渡所得割交付金		600,000
		1 株式等譲渡所得割交付金	600,000
6	地方消費税交付金		12, 832, 000
	28 6 6	1 地方消費税交付金	12, 832, 000
7	自動車取得税交付金		192, 000
		1 自動車取得税交付金	192, 000
8	交通安全対策特別交付金		45,000
		1 交通安全対策特別交付金	45, 000
9	地方特例交付金		60,000
		1 地方特例交付金	60,000
10	特別区交付金	•	1, 200, 001
	5.4	1 特別区財政調整交付金	1, 200, 001
11	分担金及び負担金		1, 548, 518
		1 負担金	1, 548, 518
12	使用料及び手数料		7, 750, 724
		1 使用料	6, 980, 295
		2 手数料	770, 429
13	国庫支出金		13, 631, 789

款	項	金 額
	1 国庫負担金	8, 797, 124
,	2 国庫補助金	4, 828, 236
	3 国庫委託金	6, 429
14 都支出金		6, 092, 073
	1 都負担金	2, 670, 975
	2 都補助金	2, 609, 190
	3 都委託金	811, 908
15 財産収入		462, 101
	1 財産運用収入	461, 143
	2 財産売払収入	958
16 寄附金	-	95, 209
	1 寄附金	95, 209
17 繰入金		43, 988, 550
	1 基金繰入金	43, 988, 549
	2 特別会計繰入金	. 1
18 繰越金		1, 000, 000
	1 繰越金	1, 000, 000
19 諸収入		2, 413, 840
	1 延滞金、加算金及び過料	153, 361
-	2 特別区預金利子	1, 407
	3 貸付金元利収入	484, 127
	4 受託事業収入	284, 361
	5 収益事業収入	102, 583
	6 物品売払代金	6, 336
	7 雑 入	1, 381, 665
歳入	슴 計	166, 150, 000

款	項	金 額
1. 議会費		734, 935
	1 区議会費	734, 935
2. 総務費		56, 655, 519
	1 総務管理費	52, 952, 825
	2 徴税費	1, 099, 578
-	3 戸籍住民基本台帳費	1, 456, 164
•	4 選 挙 費	177, 279
201	5 統計調查費	50, 436
•	6 区民施設費	830, 107
	7 監査委員費	89, 130
3 環境清掃費		5, 603, 961
	1 環境費	1, 169, 345
•	2 清 掃 費	4, 434, 616
4 民生費		46, 338, 170
	1 社会福祉費	13, 463, 425
	2 児童福祉費	27, 5,00, 336
	3 生活保護費	5, 301, 949
	4 国民年金費	72, 460
5 衛生費		5, 277, 397
	1 保健衛生費	5, 277, 397
6 産業経済費		2, 273, 418
	1 商工費	2, 273, 418
7 土木費		17, 144, 348
	1 土木管理費	2, 206, 722
	2 道路橋りょう費	3, 233, 077
	3 河川費	99, 150
	4 公園費	1, 227, 776
	5 都市計画費	4, 502, 604
	6 住宅費	4, 334, 533
	7 建築費	1, 540, 486
8 教育費		22, 807, 808

款	· 項	金 額
The second second	1 教育総務費	2, 855, 36
	2 小学校費	3, 668, 94
	3 中学校費	2, 504, 21
	4 校外施設費	162, 44
	5 幼稚園費	1, 408, 02
	6 社会教育費	11, 050, 52
	7 社会体育費	1, 158, 29
) 公債費		770, 10
	1 公債費	770, 10
0 諸支出金		8, 044, 33
	1 財政積立金	57, 80
	2 他会計繰出金	7, 986, 53
1 予備費	,	500,00
	1 予 備 費	500, 00
•	,	
,		
		e constant
•		
		1 1
歳 出 …	合 計 : : : : : : : : : : : : : : : : : :	166, 150, 00

第 2 表 債 務 負	担 行 為	
事 項	期間	限度額
公衆浴場改修資金等融資に伴う利子 補助	平成29年度~平成50年度	取扱金融機関が貸付をした金額に 対する年5%以内に相当する額
中小企業融資に伴う利子補給	平成30年度~平成41年度	取扱金融機関が貸付をした金額に 対する年2.6%以内に相当する額
小規模事業者経営改善資金融資に伴 う利子補助	平成30年度~平成32年度	日本政策金融公庫が貸付をした金額に対する利子の30%に相当する額
旧協働会館整備	平成30年度~平成31年度	千円 299, 694
税収納・滞納整理システム開発	平成30年度	千円 50,860
施設保全システム再構築	平成29年度~平成30年度	千円 28,577
(仮称) 南青山二丁目公共施設整備 (実施設計)	平成30年度	千円 31,988
赤坂四丁目電線類地中化整備	平成29年度~平成30年度	千円 89,343
芝浦四丁目電線類地中化整備	平成29年度~平成30年度	千円 78,643
シティハイツ高浜等整備(基本設 計)	平成30年度	千円 ・ 20,792
シティハイツ高浜等解体	平成30年度	千円 191,679
赤羽小学校等改築(基本設計)	平成30年度	千円 42,870
芝浦小学校仮設校舎賃借	平成29年度~平成35年度	千円 518, 400

 $\odot$ 

事項	期間	限度額
赤坂中学校仮設校舎賃借	平成29年度~平成34年度	千円 1,020,600 ·
赤坂中学校等改築(実施設計)	平成30年度	千円 155, 958
港南幼稚園園舎増築(仮園舎賃借)	平成30年度~平成40年度	千円 81,810
麻布幼稚園園舎増築	平成30年度	千円 206,063
(仮称) 科学館展示設営物等製造	平成29年度~平成31年度	千円 392,040
(仮称) 科学館プラネタリウム機器 製造	平成29年度~平成31年度	千円 331,560

# 議案第22号

平成29年度港区国民健康保険事業会計予算

## 平成29年度港区国民健康保険事業会計予算

目

次

予 算	総則・	• • • • •	• • • •	• • •	• • •	• • •	• • •		••	• • •	••	• •	• • •	••	•••	• •		••.	19 頁
第1表	歳入歳出予	算				••				•••	· • •	• •		·.• •	· • •				20
1	歳	入				• • •		• • • ·	••		••	• •	• • •		· • •	••	• •	.,	20
2	歳	出					<i>.</i>												21

### 平成29年度港区国民健康保険事業会計予算

平成29年度港区の国民健康保険事業会計の予算は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算)

- 第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ28,253,409千円と定める。
- 2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。 (一時借入金)
- 第2条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、100,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第3条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、各項に計上した給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間とする。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

#### 第 1 表 歳入歳出予算

1 歳 入

(単位:千円)

	項	金額
1 国民健康保険料		8, 158, 542
	1 国民健康保険料	8, 158, 542
2 一部負担金		4
	1 一部負担金	4
3 使用料及び手数料		120
	1 手数料	120
4 国庫支出金		5, 511, 283
	1 国庫負担金	5, 460, 518
	2 国庫補助金	50, 765
5 療養給付費等交付金		273, 273
	1 療養給付費等交付金	273, 273
6 前期高齢者交付金		2, 009, 993
	1 前期高齢者交付金 ,	2, 009, 993
7 都支出金	•	1, 371, 954
	1 都負担金	263, 386
	2 都補助金	1, 108, 568
8 共同事業交付金	-	7, 733, 469
	1 共同事業交付金	7, 733, 469
9 財産収入		1
	1 財産運用収入	1
10 繰入金		3, 152, 097
	1 繰入金	3, 152, 097
11 繰越金		. 35,000
	1 繰越金	35,000
12 諸収入		7, 673
•	1 延滞金、加算金及び過料	5
	2 預金利子	96
	3 雑 入	7, 572
歳入	合 計	28, 253, 409

2 歳 出

(単位:千円)

款	項	金 額
1 総務費		559, 396
	1 総務管理費	450, 979
	2 徽 収 費	108, 417
2 保険給付費		14, 593, 912
	1 療養諸費	12,771,139
	2 高額療養費	1,571,531
	3 移送費	400
	4 出産育児諸費	222, 292
	5 葬祭費	15, 260
	6 結核・精神医療給付金	13, 290
3 後期高齢者支援金等		3, 305, 656
	1 後期高齢者支援金等	3, 305, 656
4 前期高齢者納付金等		11,657
	1 前期高齢者納付金等	11,657
5 老人保健拠出金		106
	1 老人保健拠出金	106
6 介護納付金		1, 583, 232
	1 介護納付金	1, 583, 232
7 共同事業拠出金		7, 847, 475
	1 共同事業拠出金	7, 847, 475
8 保健事業費		188, 523
	1 特定健康診査等事業費	179, 110
	2 保健事業費	9, 413
9 諸支出金		63, 452
,	1 償還金及び還付金	63, 451
	2 公債費	1
10 予備費		. 100,000
	1 予備費	100,000
歳 出	合 計	28, 253, 409

議案第23号

平成29年度港区後期高齢者医療会計予算

## 平成29年度港区後期高齢者医療会計予算

目

次

予 算	総則		 • • • • •		 • • • • • •		27 頁
第1表	歳入歳	出予算	 	•••••	 	······	28
1	歳	入	 	• • • • • • •	 • • • • • • •		28
2	歳	出	 	· · · · · ·	 · • • • • • • •		29

### 平成29年度港区後期高齢者医療会計予算

平成29年度港区の後期高齢者医療会計の予算は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 5,313,778 千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

0

1 成 八	-	(単位:十円)
款	項	金 額
1 後期高齢者医療保険料		3, 098, 148
	1 後期高齢者医療保険料	3, 098, 148
2 使用料及び手数料		1
	1 手数料	1
3 繰入金		2, 099, 643
	1 繰入金	2, 099, 643
4 繰越金	the state of the state of	1
	1 繰越金	1
5 諸収入		115, 985
1	1 延滞金及び過料	. 2
	2 償還金及び還付金	5, 000
-	3 預金利子	52
	4 受託事業収入 ,	110, 930
	5 雑 入	1
歳 入	合 計	5, 313, 778

2 歳 出

(単位:千円)

款	項	金 額
1 総務費		319, 402
	1 総務管理費	319, 402
2 広域連合負担金		4, 751, 836
	1 広域連合負担金	4, 751, 836
3 保険給付費		84, 160
	1 葬祭費	84, 160
4 保健事業費		103, 380
	1 保健事業費	103, 380
5 諸支出金		5, 000
	1 償還金及び還付金	5, 000
6 予備費		50,000
	1 予備費	50, 000
歳出	合 計	5, 313, 778

# 議案第24号

平成29年度港区介護保険会計予算

## 平成29年度港区介護保険会計予算

月 次

予 算	総 則	 35 頁
第1表	歳入歳出予算	 36
1	歳 入	 36
2	歳出	 37

## 平成29年度港区介護保険会計予算

平成29年度港区の介護保険会計の予算は、次に定めるところによる。 (歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ16,818,562千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表歳入歳出予算」による。

平成29年2月15日提出

港区長武井雅昭

1 歳 入

(単位:千円)

1		(年位:十日)
款	項	金 額
1 介護保険料		3, 949, 223
	1 介護保険料	3, 949, 223
2 使用料及び手数料		1
	1 手数料	1
3 国庫支出金		3, 334, 241
	1 国庫負担金	2, 677, 404
	2 国庫補助金	656, 837
4 支払基金交付金		4, 417, 660
	1 支払基金交付金	4, 417, 660
5 都支出金		2, 356, 188
	1 都負担金	2, 213, 628
	2 都補助金	142, 560
6 財産収入	(	208
• •	1 財産運用収入	208
7 寄附金		1
,	1 寄附金	1
8 繰入金		2, 734, 790
	1 一般会計繰入金	2, 734, 790
9 繰越金		6, 641
	1 繰越金	6, 641
10 諸収入		19, 609
	1 延滞金、加算金及び過料	6, 559
	2 預金利子	88
	3 雑 入	12, 962
	·	
	•	

2 歳 出

(単位:千円)

款	項	金額
1 総務費	1	680, 223
	1 総務管理費	680, 223
2 保険給付費		15, 068, 847
	1 介護サービス等諸費	15, 068, 847
3 地域支援事業費		992, 416
	1 介護予防・生活支援サービス事 業費	585, 768
	2 一般介護予防事業費	137, 533
	3 包括的支援事業・任意事業費	264, 388
	4 その他諸費	4, 727
4 基金積立金		48, 651
	1 基金積立金	48, 651
5 諸支出金		6, 641
	1 償還金及び還付金	6, 640
	2 一般会計繰出金	1
6 公债费		21, 784
	1 財政安定化基金償還金	21, 784
歳 出	습 計	16, 818, 562

五. 号

指 定 管 理 者  $\mathcal{O}$ 指 定 に 0 1 て

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 月 + 五. 日

出 者 港 区 長 武 井 雅

昭

提

指 定 管 理 者  $\mathcal{O}$ 指 定 に 0 1 て

左 記  $\mathcal{O}$ と お り 公  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 管 理 を 行 わ せ る 者 を 指 定 す る。

記

公  $\mathcal{O}$ 施 設  $\mathcal{O}$ 名 称

港 区 <u>\f\</u> 六 本 木 駅 自 転 車 駐 車 場

指 定 管 理 者  $\mathcal{O}$ 名 称 及 U 主 た る 事 務 所  $\mathcal{O}$ 所 在 地

Ν CD グ ル ] プ

東 京 都 品 Ш 区 西 五. 反 田 兀 丁 目 三 +番 \_\_ 号 日 本 コ ン  $\mathsf{L}^{\circ}$ ユ 1 タ • ダ イ ナ 3 ク ス 株 式 会 社 内

三 指 定  $\mathcal{O}$ 期 間

平 成 <u></u> + 九 年 八 月 \_\_ 日 カゝ 5 平 成 三 + \_ 年三 月  $\equiv$ + 日 ま

で

へ 説 明)

六本 木 駅 自 転 車 駐 車 場  $\mathcal{O}$ 指 定管理 者 を 指 定する必 要 があ るため、 地 方自治 法 昭昭 和二十二年

法 律 第六十七 号) 第二百 兀 十四条 の 二 第六 項  $\mathcal{O}$ 規定に 基づ き、 本 案 を 提 出 1 た L ま す。

六 号

包 括 外 部 監 査 契 約  $\mathcal{O}$ 締 結 に 0 1

て

右  $\mathcal{O}$ 議 案 を 提 出 す る

平 成 + 九 年 月 + 五. 日

提 出 者 港 区 長

武 井

包 括 外 部 監 査 契 約  $\mathcal{O}$ 締 結 に 9 11 て

左 記  $\mathcal{O}$ کے お り 包 括 外 部 監 査 契 約 を 締 結 す る。

記

住 所 東 京

契

約

0)

相

手

方

都 中 野

区

新

井

丁

目

谷 Ш 淳

氏

名

公 認 会 計 士

平 資 成 <u>-</u> 格 + 九 年 兀 月 <del>--</del>

日

カュ

5

亚

成

三

+

年

三

月

三 +

日

ま で

九 百 七 + $\stackrel{-}{=}$ 万 円 を 上 限 と す る 額

 $\equiv$ 

契

約

金

額

契

約

 $\mathcal{O}$ 

期

間

兀

費

用

 $\mathcal{O}$ 

支

払

方

法

監

査

 $\mathcal{O}$ 

結

果

に

関

す

る

報

告

提

出

後

に

\_\_

括

払

1

説 明

昭

雅

七 平 - 成二 十 九 年 度 0) 包 括 外 部 監 査 契 約 を 締 結 するた め、 地 方 自 治 法 昭昭 和二十二年 法 律 第六

+

号) 第二 百 五 + = 条 の 三 十 六 第 一 項  $\mathcal{O}$ 規 定 に 基づ き、 本 案 を 提 出 V た L ま す。